



しぶし 2

平成 19 年 2 月号
FEBRUARY

鹿児島県志布志市

CONTENTS No.14

- 02 志布志市誕生一周年記念式典
- 04 まちの話題
- 10 エコ通信
- 14 保健師メモ
- 15 志布志市暮らし
- 18 教育委員会情報ネット
- 26 男女で作るうるおいと活力あるまち

1月19日、伝統の伊崎田和紙の紙漉きが伊崎田小学校内にある郷土室で行われました。この伊崎田和紙で作られた卒業証書が、有明地区の小・中学校の卒業式で子ども達に手渡されます。(関連記事6ページ)



志布志市の 市の花・市の木・イメージソング が決定しました



市の花は ひまわりに決定

市の花は、150人から30種の候補が寄せられ、市民や学識経験者などで構成する志布志市シンボル選定委員会において、志布志市にふさわしい花として「ひまわり」が決定しました。

選定理由は、応募の中で一番多かったこと。

「ひまわり」は、子どもから大人まで広く親しまれており、栽培もしやすく、市内のあらゆるところで見ることができます。また、太陽をイメージさせる明るさや空に向かってまっすぐ伸びる姿勢は、未来に向けて躍進する志布志市と重なります。



市の木は びろうに決定

市の木は、149人から20種の候補が寄せられ、市の花と同様に選定委員会で志布志市にふさわしい木として「びろう」が決定しました。

選定理由は、応募の中で一番多かったこと。

「びろう」は、志布志湾の象徴である枇榔島に自生しており、青い海とよく似合います。また、葉の広がり志布志市の発展を予感させ、人を優しく包み込むイメージがあり、幹も大きく忍耐強さを感じます。

志布志市誕生一周年記念式典

更なる飛躍へ向けて!



オープニングを飾った宇都中学校吹奏楽部



志布志市イメージソングを披露した有明中学校合唱部



100人の児童が躍動感あふれる踊りを披露した志布志ソーラン2007



イメージソング最優秀賞の大峯さん

1月28日、志布志市誕生一周年記念式典が、志布志市文化会館で開催され、市民約900人が出席し、盛大に開催されました。

式典を飾るオープニングでは、宇都中学校吹奏楽部による演奏が行われ、美しい音色が館内に響きました。式典では、本田修一市長が「志布志市は九州で唯一の中核国際港湾志布志港を有し、商業・物流を中心に振興を図られた地域と、農業を中心として振興が図られた地域が一体となり、南九州の国際物流の拠点として発展し続ける新たな一歩を歩き始めました」と式辞を述べました。

その後、県知事から合併功労者総務大臣表彰伝達が行われ旧志布志町長の慶田泰輔氏、旧松山町長の上村環氏、旧有明町長の本田修一氏に表彰状が手渡されました。

また、「市の花・市の木」懸賞当選者の岩本政子さん、土園信雄さん、東由香利さんが特別賞を受けました。



式辞を述べる市長



大使の委嘱状が贈られました

続いて、イメージソング最優秀賞を受賞した志布志小学校5年生の大峯瑞季さんに記念の盾と副賞が贈られました。大峯さんは「物語や詩を読んだり、書いたりするのが好きなので、市報を見て応募しました。最優秀賞に選ばれて大変うれいす」と話していました。

アトラクションでは、有明中学校合唱部がイメージソングを披露し、志布志小学校の3・4年生が志布志ソーラン2007を踊り、志布志市誕生一周年を祝いました。

綾小路きみまろ氏に志布志市ふるさと大使を委嘱

午後からは、市民1000人が見守る中で、本市松山町出身の綾小路きみまろ氏の独演会が行われました。毒舌の中にも温かみのある漫談に会場は終始笑いがあふれていました。最後に、市長が綾小路きみまろ氏にふるさと大使の委嘱状を手渡し、志布志市を全国にPRしてほしいとお願いし、盛会のうちに終了しました。

志布志市イメージソング
「フロムしづし」

作詞 大峯瑞季
作編曲 野田陽造

しづしの 海から 広げよう
地球は丸いよ 一つだと
南の海から 広げよう
小さなやさしさ 波のせて
志布志は 出会いの街
新しい笑顔がおどる街
しづしの 海から 広げよう
しづしの 海から 広げよう

しづしの 丘から 伝えよう
みんなの命 大切と
南の丘から 伝えよう
明日は今日より いい日だと
志布志は 歴史の街
過去と未来の夢 語る街
しづしの 丘から 伝えよう
しづしの 丘から 伝えよう

しづしの 里から 届けよう
緑の風 土のぬくもり
南の里から 届けよう
自然が笑うよ 歌う声
志布志は 輝く街
星も花も人も 光る街
しづしの 里から 届けよう
しづしの 里から 届けよう



日本一の茶産地を目指して

農林水産省生産局長賞の伝達を受ける堀口泰久さん

1月18日、国民宿舎ボルベリアダグリで、平成19年度鹿児島県茶業振興大会in志布志市に向けた決起大会と、第60回全国茶品評会・第37回九州茶品評会、産地賞・農林水産大臣賞ダブル受賞祝賀会が行われました。志布志市は茶を基幹作目に位置付けており、全国でも有数の産地として1000ヘクタールを超える茶園面積と生産量で県内外からも注目を浴びています。平成19年度には鹿児島県茶業振興大会in志布志市大会を開催し、茶業発展を図り、日本一の茶産地を目指します。

また、本年度の製茶品評会では、各大会で受賞するなど、品質の向上も図られ、祝賀会では多くの関係者が見守る中、産地賞・個人特別賞の表彰伝達式が行われました。



消防出初式が開催されました

消防庁長官永年勤続功労章の伝達を受ける入口順一さん

1月6日、有明総合体育館で平成19年消防出初式の表彰式が行われました。当初、有明国民運動場で予定していた出初式での訓練等は雨のため中止となり表彰状授与等の式典のみ体育館で行われました。

授与の前に山重小学校の少年消防クラブが活動の発表を行いました。その後、消防庁長官表彰伝達を志布志方面隊副隊長の入口順一さんが受けるなど170人の消防団員に表彰状が授与されました。

常日頃から市民の生命と財産を守るため、日夜活動を行う消防団員の皆さん、これからもよろしくお願します。

1月22日からの給食週間では、県内の食材を中心に使った給食が作られました。特に22日には「丸ごと志布志を味わうキラリ輝く給食の日」として、ほとんどの食材が市内産のものを使った給食でした。

市内、各地で様々な取り組みのほか、1月22日、尾野見小学校の4・5年生と教育委員、地元の評議委員との給食交流会が行われました。

この交流会では子ども達と、教育委員のほか、PTA会長など地元の評議委員もランチルームで子ども達と給食を食べました。5年生の隈元かりなさんは「大人のひと食べるのは少し緊張するけど楽しいです」と話していました。



保護者の方も一緒に子ども達と給食を食べました

給食交流会を開催しました

歩こう会でぐるりと再発見!

12月10日、志布志子ども会育成連絡協議会主催の「寒中歩こう大会」が開催され、140人の子ども達が参加し、串間市福島今町駅から志布志駅間の約12・4キロを歩きました。

「寒さに負けない体力・気力の養成」「郷土意識の高揚」「異年齢交流」を目的に開催された歩こう会で、普段は何気なく通り過ぎる見慣れた景色ですが、ゆっくりと歩くことで、子ども達は、様々な再発見があったようでした。

距離が短かったのか、参加者は涼しい顔をしてゴールしていました。ゴール後は、豚汁とおにぎりが振舞われ、参加者はおいしそうに食べていました。



ゆっくりと志布志の風景を味わいながら歩きました



佐藤さんを激励する市長
技能グランプリに出場します

3月2日から5日にかけて、千葉市の海外職業訓練協会・シンポジウムホールで開催される第24回技能グランプリに志布志町安楽の佐藤隆洋さん(28歳)が参加します。

1月30日、その報告のために佐藤さんは市役所を訪れました。

佐藤さんは家業の佐藤建具・ふすま店で技術を磨いています。技能グランプリについては「名工と呼ばれる人も多数参加します。少しでもその技術を取り入れたい」と話しました。佐藤さんの活躍を期待します。



読み聞かせに子ども達は夢中でした

1月23日、やっちくふれあいセンターに講談社の『本とあそぼう全国訪問おはなし隊』が訪れ、松山地区の保育所の園児120人が絵本の世界を楽しみました。

このキャラバン隊は、読書推進に関わるボランティアと一緒に、子ども達に

おはなし隊に子ども達は大喜び



懐かしい夜回り・・・歳の瀬のまちに似合います

夜回りを復活しました

「火の用心! マッチ一本火事の元」歳の瀬の寒い夜のまちに、下通山子ども会の子どもの声と、拍子木の音が響きます。

下通山子ども育成会では、火災の多いこの時期に「火の用心」を呼びかけるとともに、自主防災組織の後援もあり子ども達自らに防災や防犯について考えてもらおうと、夜回りを約20年ぶりに復活させました。

12月26日には、保護者が手作りの拍子木を手に、約30分間、地域を夜回りし、その後、差し入れのぜんざいを食べました。子ども達には寒い中での楽しい思い出となりました。



楽しい絵本もいっぱい読むことができました

母子寡婦福祉交流会

12月3日、やっちくふれあいセンターで「第7回曾於ブロック母子寡婦福祉交流会」が開催されました。

母子寡婦福祉会は「母子家庭への理解と支援を広げよう」のテーマのもと活動しています。今大会は、「明るく輝き続ける母子会の輪をひろげよう」をスローガンに、自立を目指した新たな視点からの取り組みと母子寡婦福祉の更なる向上を図ることを目的に、曾於地区内の会員等約180人が参加しました。

大会では、曾於地区内の母子寡婦福祉に功績のあった5人の表彰が行われました。また、特別養護老人ホーム賀寿園施設長の黒木隆之氏による講演や寸劇、伊藤千里子さん達による体験発表などが行われました。



式典のあと寸劇なども披露されました



中学生は慣れた手つきで紙を漉いていました

自分たちの手で卒業証書を！

1月19日、伊崎田小学校、中学校の子ども達が、自分たちの卒業証書を作ろうと、小学校内にある郷土室で伊崎田和紙作りに挑戦しました。

この和紙作りには、例年、伊崎田和紙保存会（田中昭臣代表）が、子ども達にその工程を指導します。

保存会の皆さんは、伊崎田和紙を作るために原料となる楮を採集し、蒸した後に皮をはぎ、その皮を乾燥し1年間寝かすなど、年間を通じて和紙作りを行っています。

紙漉きに挑戦した伊崎田中学校3年生の普間健仁さんは「故郷を離れても、この和紙を見れば故郷を思い出すと思います」と話していました。



一つずつ収穫しました

サワーポメロの収穫祭を開催

1月14日、有明地区宮塩自治会の山中梓さん（79歳）所有のサワーポメロ園で収穫祭が行われました。

伊崎田むら再生実行委員会が運営するサワーポメロのオーナー制は今年2年目となり、市内外から53組の申し込みがありました。

収穫祭には35組のオーナー、100人程が集まり、5月に抽選で決定した自分の木に実ったサワーポメロを一つずつ収穫しました。

ケースに一杯のサワーポメロを何回も自動車に運びながら、参加者は収穫の喜びを味わっていました。



オーナー同士の親睦を深めたバーベキュー大会



創立50周年記念の人文字

110番の日に人文字

1月9日の始業式の日、地域の方々に『110番の日』を知っていただくためのセレモニーのひとつとして、志布志警察署や地域安全モニターの協力で、香月小学校に鹿児島県警のヘリコプター『さつま』が飛来し、小学校上空から、写真撮影を行いました。

撮影後、ヘリコプターから手紙が落とされ「皆さんが安心して勉強や生活ができるように私達は活動を行います」と、志布志警察署長からのメッセージが読み上げられました。



皆で大きな絵を描きました

ふるさとづくり委員会情報交換会

1月23日、市文化会館2階会議室で、志布志市ふるさとづくり委員会情報交換会が行われ、市内のふるさとづくり委員会21団体、約70人の委員が集まりました。

志布志地区では地域活性化プランに基づき事業が具体的に展開され、松山及び有明地区でも、地域の将来像に向けた計画づくりの取り組みが始まりました。

情報交換会では、夏井・陣岳区のダグリ岬周辺整備事業等、以前から取り組んでいる志布志地区の具体的な成果などの発表が行われました。市民が自らの手でまちづくりを行うための貴重な会となりました。



各地区のふるさとづくり委員会が意見交換を行いました



委嘱状を手にする山本さん
人権擁護委員を委嘱されました

山本つとむさん（松山町新橋）が、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。

山本さんは、松光寺に昭和58年に入寺し、平成3年から5期15年間、人権擁護委員として活躍されており、1月1日付けで再任され、1月17日、市役所で瀬戸口助役から委嘱状が手渡されました。

人権擁護委員は地域住民の人権について、一番身近な相談相手となり、人権尊重思想の啓発に努めています。今後の活躍を期待します。



優勝をよろこぶ選手の皆さん

県スポーツ少年団剣道競技で優勝

12月24日、鹿児島県体育館で開催された県スポーツ少年団競技別交歓大会剣道競技の部で、小学生の部に出場した志布志武道館剣道スポーツ少年団が優勝しました。また中学生個人の部で来條祐太さん（志布志中3年）が優勝しました。



受賞を喜ぶ山本さん

1月30日、香月小学校でスチール缶リサイクル協会の主催する「第1回スチール缶リサイクルポスターコンテスト」で優秀賞に輝いた同校2年の山本日向さんに、表彰状と副賞が同協会事務局部長の川崎一行さん（写真左）より手渡されました。山本さんは「お母さんにリサイクルについて教えてもらいながら、家での様子を描きました」と話しました。



安全運転を呼びかけました

110番の日交通安全キャンペーン

1月10日、『110番の日』に市内各地で様々な活動がありました。

志布志地区交通安全協会有明支部では、年末年始の交通安全運動の最終日ということもあり、山重小学校近くの国道269号線で交通安全キャンペーンを行いました。

曾於市方面に向かう自動車を止め、交通安全のチラシと手作りのお守りをドライバーに手渡し『安全運転』を呼びかけました。

200セット準備したお守りは30分程で、配布を終わりました。



入賞を喜ぶ極真会館有明・志布志支部の皆さん

南日本空手道選手権大会で活躍

12月17日、鹿児島県体育館で開催された『極真空手第10回南日本ドラゴンカップ空手道選手権大会』に極真会館鹿児島支部有明・志布志分支部（稲付辰昭分支部長）から多くの選手が出場し各部門で優秀な成績を修めました。

結果は次のとおりです。（敬称略）

- 組み手の部
 - ・壮年女子の部
 - 優勝 吉元みゆき（松山町新橋）
 - チャレンジクラス
 - 2位 福元健太（香月小6年）
 - 3位 福元康太（香月小2年）
 - ・高校軽量
 - 3位 前迫蓮（志布志高校）
 - ・壮年40歳以上
 - 2位 前迫敏朗（志布志町安楽）
 - 型の部
 - ・中学の部上級
 - 優勝 前迫燈（志布志中学校）
 - ・高校・一般男子の部
 - 優勝 前迫蓮（志布志高校）
 - ・小学2年初級
 - 2位 野村聖璃架（通山小学校）
- 今回、型の部で優勝した前迫燈さんは「空手は練習しただけ成果が出ます。入賞すると励みになります」と話していました。



元旦は田んぼでナイスショット

1月1日、牛若丸会（主に牛ヶ迫自治会員と近隣の若者）が、恒例の年始ゴルフを牛ヶ迫内の収穫の終わった水田で行いました。

15年程前から行われているこの年始ゴルフは、水田に作った8ホールの特設コースで行われました。参加者は全員長靴を履いてゴルフクラブを握り、稲の刈り取ったあとにボールが飛んでいったり、水路にボールが落ちたり、菱田川にボールが飛び込んだりとなかなか思うようにプレーできず笑いの連続でした。

参加者の脇田登士己さんは「正月は何もすることが無いので始めたこのゴルフは、和気藹々として親睦が図れます」と話していました。



市内出身選手が国立で活躍

12月30日から、東京・西が丘サッカー場など首都圏8会場で開催された第85回全国高校サッカー選手権大会に、鹿児島県代表として初出場した神村学園に本市出身の中村駿選手が出場し、ベスト4進出の原動力となる活躍をみせました。

中村選手は幼稚園時代からボール遊びが大好きで、志布志小学校時代にはサッカースポーツクラブに所属し、本格的にサッカーの練習を始めました。

全国大会の感想を中村選手は「国立競技場で試合ができて奇跡のようで嬉しいです」と話していました。鹿児島県は強豪校も多く、また、神村学園も選手層が厚いため、中村選手は人一倍の努力が必要と、毎日の練習に取り組んでいます。

2月には九州大会にも出場します。中村選手の活躍に期待します。

この件については2月2日の鹿実戦の結果しだいで変更になります。

9人の参加者は思い通りにならないボールに悪戦苦闘しました

地域の高齢者としめ縄作り

12月21日、八野小学校（藤原正校長）で、子ども達が地域の高齢者サークル千歳会（池添力会長）の指導のもと、しめ縄づくりを体験しました。

体育館で、3年生以上の児童9人が挑戦したしめ縄作りは、最初は慣れない手つきでしたが、千歳会の方の指導で次第に慣れて、最後は全員立派なしめ縄ができました。

しめ縄を手にした3年の北野祐也さんは「初めてしめ縄づくりをしましたが、おじいさんに優しく教えてもらって上手にできました。次は門松作りにも挑戦したい」と笑顔で話していました。



地域の方としめ縄を作る子ども達



市内各地で伝統的な取り組みが行われました
市内各地で元旦祭

1月1日、晴れやかな元旦の朝に、市内各地で手作りの元旦祭が行われました。

野神校区自治会では、地元の稲荷神社で伝統的な元旦祭が行われたあと、3年前から地域の方がぜんざいや焼き鳥などを初詣に訪れた方に振る舞っています。

「お参りに来る人をもてなすことで、近くにある神社や仏閣を大切にしたいと思います」とこの活動を続けている福留幸治さんは話していました。

豊年を願って『白起こし』

元旦の夜、子ども達が近所の家々を回り、もちや米、果物をもらって歩く伝統行事「白起こし」が志布志地区の大川内で行われました。

「マンサク」とも呼ばれ、昭和の初めころから行われていたこの行事



豊年を願い今年も伝統行事が行われました

は、子どもの人数が少なくなり途絶えていましたが、平成14年に8年ぶりに復活しました。両合羽に身を包んだ『ひまわり子ども会』の小・中学生8人と保護者が、高いところにある家から、低いところにある家へ回りました。白にもちなどを入れて子どもたちを待つ家では、今年一年の豊年満作の願いを込めて水をかける習慣があり、子ども達は「キヤーキヤー」はしゃぎながら水を浴びていました。

子ども達は、用意された臼の周りをたたきながら「マンサク、マンサク、マンサク」と3回唱え、担いできたかごにもちや米、果物をもらってまわりました。そのあと、集落で花嫁をもらった家に集まり、もちを分け、一緒に正月を祝いました。静かな山里に一年の無病息災と豊年満作を願う子ども達の声が、元氣よく響き渡っていました

鬼火焚き

鬼火焚きで地域の活性化を！

鬼火焚きは、鹿児島県に昔から伝わる新年の行事で、竹の櫓を立て、それに火をつけて燃やし、この竹が燃えるときの「パチパチ」「パーンパーン」と竹が破裂する音で鬼を追いつくという、願いが込められた行事です。

1月7日、松山地区泰野では校区公民館近くの刈り取りの終わった水田で鬼火焚きが行われました。

この鬼火焚きは「てのんこ会（村



子ども達の手により櫓に点火されました

中洋人会長）が中心となり行われるもので、平成12年に校区民会議が発足したときに「地域の子どものために故郷を感じてもらおうような取り組みを一緒にしてみたい」と、泥んこ

大会やカルタ大会等とともに始められ、今回が10回目の開催となりました。

子ども達の健全育成を図るための取り組みということもありPTAや地域の協力も多く、今日まで続いています。

12月23日に、てのんこ会のメンバー等が作った高さ20センチに迫るかという竹の櫓は迫力満点で、更に今回は初めての試みで、鬼火焚き当日まで櫓にイルミネーションを点灯させPRを行いました。

6時から行われた開会行事では、てのんこ会の村中会長のあいさつの

後、軽トラックの荷台を使った特設舞台に、泰野小学校の6年生15人が交互に上がり4月からの中学生生活に向けて抱負を述べました。その後、6年生がたいまつで櫓に火を付け、鬼火焚きが始まりました。火は瞬間に燃え広がり、櫓は炎に包まれ、集まった人たちは遠くからその火を見守りました。ときおり「パーンパーン」と竹の破裂する大きな音に歓声があがっていました。

そして、昼についた餅を使ったぜんざいや焼き鳥なども振る舞われ、観客は凍てつく様な寒さの中で、燃え上がる炎と、その暖かさを楽しんでいました。

また、この日は松山地区新橋校区でも小学校近くの水田で、鬼火焚きが初めて行われました。





地球にやさしいこと
はじめよう!

2年前、旧有明町で事業者にレジ袋有料化についてアンケートを行いました。その中の意見で「環境問題を考えたときにレジ袋削減は賛成だ。しかし自分だけレジ袋有料化はできない、お客が来なくなってしまう」「もっと広域的にやるべきだ」「レジ袋に入れて渡すのが最低限のサービスタ」などの意見がありました。例えば、事業者として①果物などは

行っています。今、私たちにできる身近なことは、買い物に行きレジ袋を断りマイバッグを使用することです。これは誰でもできることです。例えば、車にマイバッグを2つ準備しておけば、1つ忘れてももう1つが活躍します。

買い物から社会を変えよう!

2年前、旧有明町で事業者にレジ袋有料化についてアンケートを行いました。その中の意見で「環境問題を考えたときにレジ袋削減は賛成だ。しかし自分だけレジ袋有料化はできない、お客が来なくなってしまう」「もっと広域的にやるべきだ」「レジ袋に入れて渡すのが最低限のサービスタ」などの意見がありました。例えば、事業者として①果物などは



マイバッグで地球環境を守りましょう!

②野菜の野菜を買う③地元のものを買う④賞味期限の近いものから買うなどの行動が環境にやさしい行動であり、社会を変えていくのです。取材に行ったAコープあおぞら店では「マイバッグはレジ袋より丈夫で入れやすいので大歓迎です」とレジ担当の方は話していました。使い捨て商品よりも、丈夫で長持ちするものは愛着があります。ものを大切にすれば、人も大切にしてい

「買い物から」ゴミ減らし
円卓会議」委員を募集!
市衛生自治会では、レジ袋削減について円卓会議を開催します。買い物を通してゴミ減量を考える会にしたいと考えています。
1人でも多くの参加をお願いします。
1. 公募委員の数 5人程度
2. 会議の開催回数 年3回程度
3. 応募資格 市内に居住する20歳以上の方
4. 募集期限 3月5日(月)
応募・問い合わせ先
市民部環境政策課環境政策係
Tel 474-1111(内線134)

乳酸菌バイオくんを
無料で配布します
そおりサイクルセンターでは、生ごみの匂いを消臭するための乳酸菌バイオくんを作りました。これは、台所の三角コーナーや、生ごみバケツにふりかければ消臭効果があるものです。ペットボトルに詰めてありますので、霧吹きや風呂掃除用の容器などに入れてご使用ください。これを3月までは1世帯1本無料で配布します。ご希望の方は市役所環境政策課、志布志支所市民課、松山支所市民課までお越しください。なお、4月以降は1本300円で販売します。



単品できちんと入れましょう

ごみ分別は正しくお願いします
その他プラスチックを排出するときに、レジ袋の中にトレイ、プラスチック類を入れないようにしてください。二重に入れないで単品ごとに入れてください。回収後に袋を破碎するときに何度も破れないといけないため時間がかかります。
環境学習会のご案内
今回の環境学習会では、子供も大人も一緒に自然と触れ合える「ネイチャーゲーム」等を行います。その他にも、有機野菜を使った料理やせっけんを作ります。皆様の参加をお待ちしています。
日時 2月24日(土)
9時~12時
場所 そおりサイクルセンター
定員 20人(親子あわせて)
参加費 無料
問い合わせ・申し込み先
そおりサイクルセンター
Tel 471-16050
※環境学習会は、偶数月の第4土曜日にあります。

買い物から社会を変えよう!

昨年の暮れの新聞に「買い物主婦はスーパーで手前に並んでいる古い牛乳を買う」という記事がありました。まさしくグリーンコンシューマー(日々の買い物をするときに環境のことを考えながら商品やお店を選ぶ人のこと)だと思いました。このような人が増えることで、「ものを大切にそして人を大切にす社会」へと変わっていくのです。

なぜレジ袋削減?

今レジ袋の有料化を始める小売店が全国的に増えています。なぜでしょう?それは、レジ袋の大量消費が様々な環境問題につながっている



レジ袋ごと捨てられたごみ

からです。一番は、石油資源の消費の問題です。レジ袋は石油からできています。レジ袋が少なくなれば、その分石油が節約できるということです。大切な石油を有効に使いたいものです。

最近の情報

このような状況を踏まえて、改正容器リサイクル法が、4月1日から施行されます。内容は、事業者が包装材料などの削減が義務付けられるというものです。

レジ袋を有料化する
・お店がマイバッグを準備する
・はかり売りをする
・レジ袋が必要か意思確認をする
このような取り組みを行って、包装材料(レジ袋など)の削減に努めなければなりません。
改正容器リサイクル法の施行に向けて様々な事業所で、包装材料の削減を図るため、レジ袋有料化などの取り組みが始まっています。
志布志市は年間85ト使用?
日本人は、レジ袋を年間300億枚使用しているというデータがあります。つまり、年間1人あたり

300枚使っているのです。また、市の人口は約3万5000人ですから、市全体で約1050万枚使っていることとなります。また、1枚の重さを8gで計算すると、重さ85ト分のレジ袋を使用していることとなります。ミニトマトの小粒のものが約7gですので、レジ袋を1枚使わないとミニトマト1個のごみ減量になるのです。
このレジ袋の大半はごみとして排出されています。

便利なんだけど...

レジ袋は確かに手軽で便利なものです。様々な場面で重宝します。しかし、スーパーでガムや缶ジュース1本買い物でもレジ袋に入れます。これは必要でしょうか?そのまま袋を使わずに持つて帰れないでしょうか?必要かどうか、少し考えてみたいものです。

先ほど、レジ袋の大半がごみになると述べましたが、レジ袋がポイ捨てされ、水田の給水口につまり、朝行ってみたら水がかかっているという話を聞くことがあります。また海でも問題が起きています。魚たちがクラゲやプランクトンと間違えてビニール片を食べてしまします。そして、お腹いっぱいになるけれど消化されずに、胃の中にいつまでもごみは残ります。そして、体力を失い死んでいくのです。

4Rについて考えましょう!

Refuse (リフューズ)
ごみになるものを断ちましょう!
マイバッグを持参してレジ袋をもらわないなど、大量生産・大量消費・大量廃棄の使い捨て型のライフスタイルを見直すことが大切です。
Reduce (リデュース)
買う量・使う量を減らしましょう!
買い物前に必要なもののリストを作り、必要な物だけ購入します。また、買って来て手付かずで捨てられる「手付かず食品」、「食べ残し」を減らしましょう。
Reuse (リユース)
繰り返し使いましょう!
使い捨て容器ではなく、ビールビンなど何度も使える容器(リターナル容器)に入った製品を選びます。フリーマーケット等を活用して使える服などは、必要な人に譲ったりしましょう。
Recycle (リサイクル)
資源に再生して再利用しましょう!
市が行う分別収集にしっかりと協力することは勿論ですが、再生品を使った環境にやさしい品物を選ぶなど常に環境に対する意識を持つことが大切です。
志布志市内でもレジ袋の削減に努める事業所もあります。例えば、マイバッグを持参するとスタンプカードに押印し賞品や割引のサービス



FMしづし開局時の放送の様子（島津陽亮理事長のあいさつ）

行います。大隅半島に初めて誕生したラジオ局を多くの皆様の手で「わがえん町の放送局」として浸透することを願っています。

また、運営についてはFMかのや・FMきもつき・FM志布志が共同運営しています。

FM志布志では、会員やボランティアを随時募集しています。放送に携わりたい、興味がある、ラジオに出てみたいと思う方は左記までお問い合わせください。

お問い合わせ先
 おおすみ半島コミュニティ放送ネットワーク
 TEL 0994-4111485

みんなでつくる共生・協働のまちづくり

FM『志布志』 おおすみ半島コミュニティ放送ネットワーク

特定非営利活動法人おおすみ半島コミュニティ放送ネットワークは、FM志布志・FMかのや・FMきもつきの共同運営をサポートするNPO法人です。

FM志布志は、特定非営利活動法人（平成17年8月認証）『志布志コミュニティ放送』が、志布志市を中心に放送するコミュニティ放送局で、平成18年10月13日、サンポートしづしアピア内に開局しました。周波数は78・1メガヘルツ、出力は20ワットで志布志地区の陣岳（テレビ放送の志布志中継局と同一地点）から送信しています。

放送は、市内の約7割の範囲で受信することが可能で、番組制作は各局とおおすみFMネットワークで行っています。

このFM放送は「誰でもラジオ、どこでもリスナー」を趣旨としており、FMかのや・きもつき開局日の放送では小学生がコールサインを送出するなど、誰でもラジオ番組に出演することができます。

また、アメリカ合衆国で広く用いられているパブリックアクセス（地元住民による制作番組）を積極的に実施している国内でも数少ない放送局です。

志布志市で聴くことのできるFM局です。

志布志は、平成18年10月28日に、サンポートしづしアピア11周年記念公開生放送を実施しました。

マスコミキャラクターは「FM FM」です。FM FMの名称は平成17年にインターネット上で公募されました。（デザインは鹿屋市の徳留好恵さん）

最近では放送も充実し、サンポートしづしアピアなどで配布しているリーフレット「BIG・WAVE」や「HOTSPOT」、南九州新聞の紙面にも番組表が掲載されています。

大隅半島の情報発信基地誕生

今まで、大隅半島には自分たちで情報発信できるメディアがありませんでした。大隅半島にメディアの必要性を感じ、誰でも気軽に参画できるNPO運営によるラジオ局が立ち上げられました。

おおすみFMネットワークの運営は放送機材の賃借料・専用回線、電話使用料、交通費、専従職員の人件費等以外に非営利で行なわれています。

利益が出たら、より質の高い番組作りや目的に沿った事業に再投資を

みんなが待ってた！私達のFMラジオ

地域の情報満載です！

★www.0033fm.net★
 おおすみFMネットワーク

FMかのや 77.2MHz FMきもつき 80.2MHz FM志布志 78.1MHz

「志布志の民話」は毎週金曜日、午後8時20分から15分間の放送です。

FM志布志放送局長の北川美喜子さんの朗読で「あつたこつじやろかい、ねかつたこつじやろかい。あつたこちしつせえ、きつくいやんせ」が始まります。朗読のもとになった『志布志の民話』は平成6年に志布志町教育委員会によって1冊の本にまとめられたものです。

民話は本来、方言で語られるものですが、会話以外ではできるだけわかりやすく編集してあります。

また、今後は有明の民話、松山の民話も放送予定です。

「大好き学校」は毎週水曜日、午前8時10分から15分間の放送です。

市内の小中学校に、突撃インタビューを行います。子ども達の将来の夢など地元のラジオ局ならではの「本音トーク」で、親近感を覚える内容です。

志布志市、第1回目の登壇校は原田小学校（2月28日放送予定）です。是非お楽しみに。

「輪多市のしづし」は毎週、月曜日と木曜日の午前5時から1時間の放送です。

市報しづし平成18年11月号から、市内のボランティアの手によって始まった『市報の朗読サービス』を放送します。

町の話題や保健師メモ等の生活に役立つ情報を、市内の読み聞かせボランティアや志布志高等学校の放送部の方の朗読で紹介しています。

「早起きは三文の得」といいます。是非、お聴きください。

そのほかにも月曜日から金曜日の、午前7時30分から生放送の「おおすみおはようラジオ！」では全国の特産品が、リスナーに当たるチャンス。「ダーツに聞いて！」などの楽しいコーナーもあります。是非、市民の皆さんも聴いてみてください。



二見いずさんがアナウンサーの基本を分かりやすく教えました

目指せ未来のパーソナリティー

1月16日から2月20日にかけてパーソナリティー養成講座を行っています。講師は南日本放送のパーソナリティーとしておなじみの二見いずさんです。

講座では、話し方や発音だけでなく、受講生に30秒と限られた手を取りながら、人に気持ちを伝える技術などについても学習しました。

受講生の牧枝みゆきさんは「普段何気なく話している言葉の難しさに驚きました。声だけで相手に伝えるラジオの世界をもっと知りたくになりました」と話していました。



講師の竹井恵実さんが分かりやすく機器の操作を指導しました

志布志市 菜らし

LA LA SOLEIL

Vol5. 田淵司さん



演奏する田淵さん そのレパートリーは500曲を超えるといえます



二人三脚でボランティア活動に参加します

全盲のキーボード奏者

田淵司さん（67歳、有明町伊崎田）は、平成12年からキーボード（電子ピアノ）を手に有明地区の高齢者ふれあいサロン（公民館等）で行われる高齢者向けのレクリエーション等に出向き、参加者の方が楽しく歌えるように、演奏のボランティアを行っています。そしてその近くにはボランティアグループなかよしで活動している妻のヤス子さんの姿があります。「妻は運転手です。これだけは自分ではどうしようもないから」と笑う田淵さん。しかし、家庭での家事などは、できることは分担して行っているといえます。

田淵さんは、伊崎田中学校で教師として教壇に立っていましたが、昭和57年に失明し退職しました。そのショックは大きく暫くは外出もせず、ふさぎこんでいたといえます。

その後、以前から興味があったキーボードを購入し、一人暮らしの高齢者の家を訪問し、演奏を行ううちに次第に元気を取り戻しました。「二人暮らしの方を励ましていたつもりが、自分が元気づけられていたんですね」と当時を振り返ります。

現在は有明地区で毎月11か所の演奏のほか、松山地区などでも演奏を行うなど多忙な毎日を送ります。

1月17日、有明校区青少年館で開催されたサロンでは、10人を超える参加者と、ボランティアグループなかよしとともに、楽しそうにキーボードを奏でる田淵さんの姿がありました。「老人ホームなどで演奏したいと思ってもなかなかできませんでした。そんなときにサロンの演奏依頼を受けたときは少し恥ずかしかったけど、新しい楽しみができました。サロンは楽しいので多くの人に来てもらいたいですね」と話します。

司会の方が「次に歌いたい歌は？」と参加者達に問いかけると「お正月の歌」と声がかかり、田淵さんはすぐに演奏を始めました。

ゲームの間もBGMを演奏するなど忙しそうなお田淵さんですが、その笑顔は大変輝いていました。

※ふれあいサロンは有明・松山地区で開催され、どなたでも参加できます。参加日程などは各地区の社会福祉協議会までお尋ねください。



家庭で演奏することはめったにありませんが、サロンでは参加者の歌声に合わせて演奏を楽しんでいます。

健康についての様々な相談にいつでも応じています。お気軽にお問い合わせください。
本庁保健課 Tel 474-1111 志布志支所福祉課 Tel 472-1111 松山支所福祉課 Tel 487-2111

保健師

メタボリックシンドロームについて③(栄養編)

1月号にも掲載してありましたように、メタボリックシンドロームの薬は食事と運動を中心に生活習慣を見直し継続することです。特に、脂肪が内臓に蓄積する状態の肥満である内臓脂肪型肥満「りんご型肥満」は、メタボリックシンドロームを引き起こす危険が高く、食生活や運動など生活習慣の改善で、予防・解消できます。

食生活の改善のポイント

※一日3食きちんと食べる。食卓に「主食」「主菜」「副菜」をそろえ、多くの食材をとるようにする。
※早食い、ドカ食いをしない。



食生活の改善でメタボリックシンドロームの予防・解消を!

※最初に野菜類を食べ、空腹感を解消する。
※一口20回以上、よく噛んで食べる。
※箸やご飯茶碗は、一口ごとに置くようにする。
※食事は15〜30分かけて食べる。
※洋菓子や砂糖入り缶コーヒー・炭酸飲料・チョコレート・アイスクリームなど砂糖や脂肪を多く含む食品は避ける。果物は、果糖が多く含まれているので、一日にバナナだつたら中1本みかんで2個程度に控える。

【図1】エネルギーを抑えるコツ

- ・素材を選ぶ（40〜50%削減）
- ・肉の部位など、エネルギーの少ないもの
- ・肉の脂肪を取り除く（50〜60%削減）
- ・調理法をかえる（40%前後削減）
- ・焼く↓蒸す↓ゆでる↓網焼き
- ・油の吸収率を抑える（炒める・焼く場合）
- ・素材は大きめに切る。衣は少なめに。
- ・素材の水分をふき取る。油は少なめに。
- ・調理器具を選ぶ
- ・フッ素樹脂加工や鉄製の使い込んだフライパンを使用する。

目で見る100キロカロリー

・運動による消費エネルギー

・食事による摂取エネルギー

※油脂類は調理法や食材の工夫でエネルギーダウンする。（図1参照）
※だし汁を上手く活用し、塩分を摂り過ぎないようにする。
※腹八分目を心がけ、食べすぎを防ぐ
※アルコールは適量を守り、週2日は休肝日を設ける。

■適量の飲酒量

- ※ビールなら中瓶1本（500ミリリットル）
- ※日本酒なら一合（180ミリリットル）
- ※焼酎（25度）なら0.6合（110ミリリットル）
- ※ウイスキーならダブル1杯（60ミリリットル）
- ※ワインなら2杯（220ミリリットル）

腹囲の1センチ減少は、約1キロの体重減少に相当します。体重を1キロ減らすためには？

少させるためには、「運動によるエネルギー消費量の増加」と「食事改善によるエネルギー摂取量の減少」を合わせて約7000キロカロリーが必要となります。例えば、1か月かけて1センチ腹囲を減少させるためには、1日あたり約230キロカロリーを、食事によるカロリー制限と運動による減量で行うことが必要となります。一般に、運動のみで体重を減少させるのに比べ、食事改善と合わせて行ったほうが減量しやすく、内臓脂肪の減少量も大きくなります。

食べすぎに注意し、生活の中で無理なく運動を心がけることでメタボリックシンドロームを予防・解消しましょう。

特色ある教育活動



文部科学省の「キャリア教育推進校」の指定を受けて5日間の職場体験学習に取り組みました。



本校伝統の、入学式における本校教育活動の紹介を英語スピーチで行っている場面です。

地域と連携した教育活動



県民週間中に、田之浦・森山両長寿会の方々をお招きしてグラウンドゴルフ大会を開催しています。



生徒たちの登下校時の安全を確保するために、「子どもの安全を守る地域会議」を立ち上げました。

保護者と連携した教育活動



今年、「そば」の種まきや脱穀を保護者・生徒・学校が一体となって取り組みました。



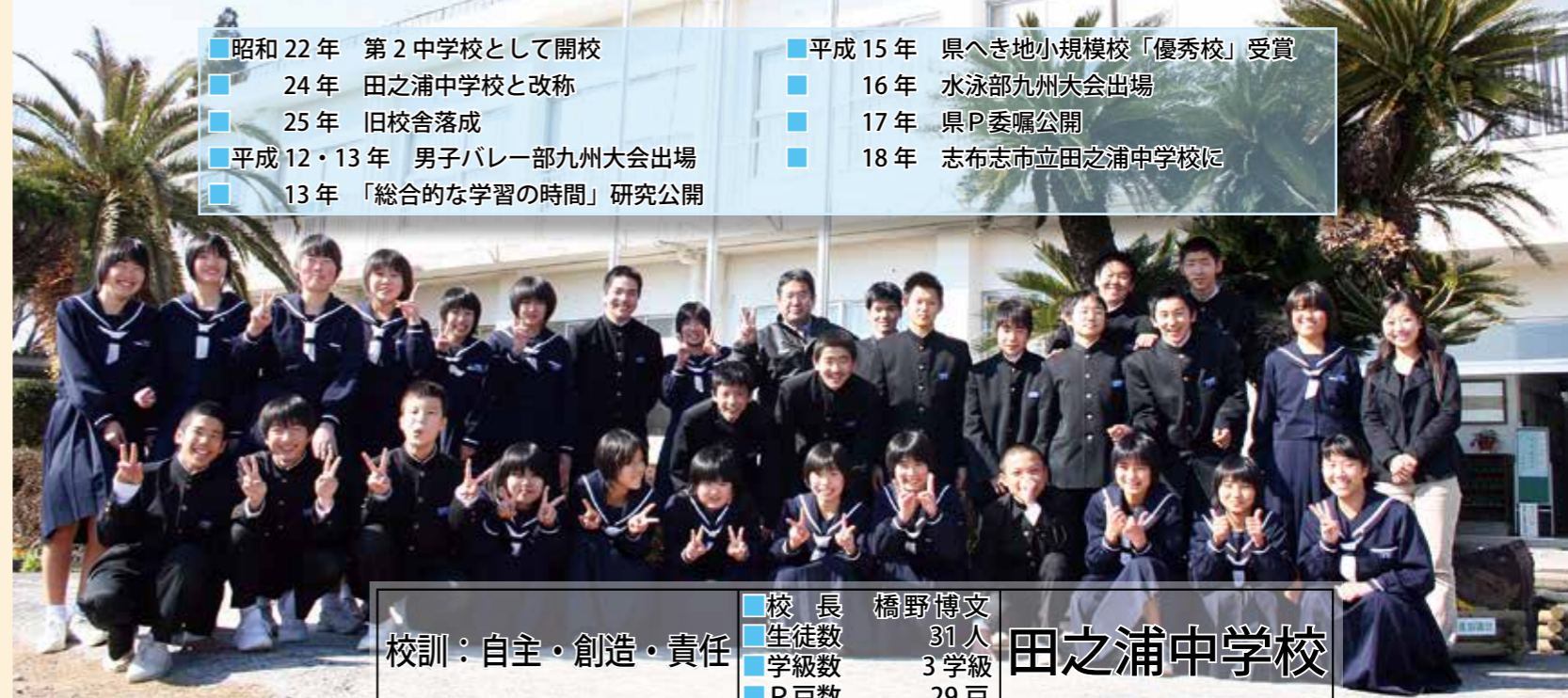
本校では文化祭に保護者の方も出演します。今年はお見事でした。



「みんなが主人公 田之浦中」

(写真：青空の下で元気いっぱいの田之浦中学校の皆さん)

- | | | | |
|------------|-----------------|---------|-----------------|
| ■昭和 22年 | 第2中学校として開校 | ■平成 15年 | 県へき地小規模校「優秀校」受賞 |
| ■24年 | 田之浦中学校と改称 | ■16年 | 水泳部九州大会出場 |
| ■25年 | 旧校舍落成 | ■17年 | 県P委嘱公開 |
| ■平成 12・13年 | 男子バレー部九州大会出場 | ■18年 | 志布志市立田之浦中学校に |
| ■13年 | 「総合的な学習の時間」研究公開 | | |



校訓：自主・創造・責任	校長 橋野博文	田之浦中学校
	生徒数 31人	
	学級数 3学級	
	P戸数 29戸	

みんなの学び舎

蓬原校区は、有明地区の中心に位置し、西部には蓬原台地が広がり、米・茶・イチゴなどを中心とした農業が盛んな地域です。また、東部の菱田川流域では、きれいな水を利用して養鰻業が盛んに行われています。蓬原小学校は、創立134年の輝かしい歴史と伝統があり、それらに支えられて故郷（ふるさと）とともに歩んできた地域に根ざした学校です。その学舎には、今日もかしこく・やさしく・たくましい子ども達の元気な声が響いています。

校訓：<かしこく><やさしく><たくましく>	校長 向原一貴	蓬原小学校
	児童数 85人	
	学級数 6学級	
	P戸数 62戸	



(写真：蓬原小学校の Beautiful な外観と子ども達)



朝の読書活動



パソコンを活用した授業



学校緑化活動



親子のふれあい給食



知育

徳育

食育

体育



朝のボランティア活動



校内持久走大会



運動会での棒踊り



地域の方と門松づくり

楽しかった山形研修



志布志小学校 5年 坪山 佑哉

12月22日、リュックを背負って、準備はバッチリです。いつもの旅行と違って、リュックの中には分厚い手袋、ニット帽子、暖かいコートが入っています。雪国は初めてなので、この日のためにそろえました、出発のときは、心配そうな母達とちがって僕たちはウキウキしていました。迎えのバスに乗って酒田市内を見学しました。雪が積もっていると思っていたのに、時期が早いということも積もってはいませんでした。しかし、空気が冷たくて、さすが東北だなと思いました。

悠人君の家は広くて、おじいちゃんとおばあちゃんとお父さんと悠人君の4大家族でした。みんな優しい顔で出迎えてくれたので安心しました。鹿児島と山形のことを交互に話しました。おじいちゃんとおばあちゃんは、山形弁で話すので、意味がわからなくなったりします。そんな時は、悠人君やお父さんが教えてくれました。次の日は、いよいよスキーをする日です。一番分厚いズボンをはいたのに、おばあちゃんに「それじゃ寒いわー」といわれ、ズボンを2枚はきました。スキーを全く知らない僕に悠人君のお父さんが優しく教えてくれました。



志布志小学校 5年 倉見谷 みずき

私は、12月22日から26日まで志布志市の代表として山形の研修に行きました。

でも外に出てみると雪は降っていませんでした。バスに乗って松山町を見渡すと、道路の周りに鉄板みたいなものがズラッと立っていて、少しびびりました。5か月ぶりに会ったあやえちゃん、あやえちゃんの家族は7人で「さすが山形だー」と思いました。あやえちゃんの妹のかなえちゃんとき

南国しづしから北国へ

12月22日から26日までの5日間、市内小中学生8人が、山形県酒田市でホームステイしながら北国の生活について研修しました。その研修記を紹介いたします。

なえちゃんといっしょに遊んだり、ご飯を食べたりしました。今日はスキー体験で、スキー場につくと雪山がいっぱいあり、雪がいつぱいふっていました。私達は、すぐにスキー靴をはき雪合戦をしました。スキーをする前に練習した「ハの字」がぜんぜんできなままスキーをする事になりました。リフトは2人で1つで、私はあやえちゃんのお父さんといっしょに乗りました。初めてだったので少し怖かったです。どんどん上がって行き、上がって



南国鹿児島を訪れた山形の子も達と

くにつれてとても怖くなっていききました。すべるのが難しく、何十回と転んで、何回も助けてもらいました。でもちよつとずつできるようになり、2回目は下までなんと30分で降りられました。次の日はフリーデーで、スケートに行きました。そこは、なんと荒川静香選手が来たスケート場だったので少しうれしかったです。スケートも初めてだったけれどとても滑りやすく、手すりを持ちながら練習すると、だんだん滑れるようになりました。次のお別れの日、なんとクリスマスプレゼントが枕元に置いてあって、中に服が入っていて、とても嬉しかったです。山形をあとにし、東京に行き、東京タワーとお台場、国会議事堂に行きました。とても楽しく、有意義な研修でした。



尾野見小学校 6年 福別府 菜美

私は、この山形研修に出発する前日まで、胸のドキドキがおさまりませんでした。夏に来てくれた

山形に行く

友達とまた会えるし、その友達の家族の方々にも会えるという二つの喜びがありました。山形名物のラ・フランズやさくらんぼの味のお菓子、また丸こんにやくや麩、りんご等が庄内空港のお土産売り場にはたくさん並んでいました。マイクロバスで、酒田市へ向かう途中にはあちらこちらに田んぼがありました。最初に訪れた作家の阿部記念館では、神棚やいろりがある等、当時の生活の様子がわかるようになっていて、阿部次郎さんの見た風景が目につかぶような作品にふれることができました。そして、松山城の大手門では、種子島から伝わった鉄砲を自分の手で持ってみたり、大きなしゃちほこを目の前でじっくり見たり、とても貴重な体験をしました。また、生まれて初めて見た最上川のキラキラと光にあたって流れる様子はまるでオレンジ色の世界のように感動しました。私がホームステイしたのは三世代同居で8人家族の櫻田家でした。山形では、三世代で暮らすのは特に珍しいことではないそうです。

らせました。フリーデーでは、朝4時から3時間もかけて「ジャングルジャングル」というスキー場へ連れて行ってくださいました。スキーを始めましたが、最初の内はなかなか滑れずに、何度も転んでは立ちを繰り返しました。そしてついに転ばずに上手に滑ることが出来るようになりました。気がつくとも8時間が経っていました。私の胸は、達成感でいっぱいでした。

そして最後の日、櫻田家のみんなとお別れはとてもさみしかったです。3泊4日があつという間

のように思えるほど充実した研修でした。

特に初めてのスキーで、転んでも立ち上がって一生懸命頑張りが出来るようになったという経験から、あきらめなければきっとどんなことでも乗り越え、いつかは出来るようになるということを学びました。春には、中学校での新しいスタートをきります。今回の経験を活かし、中学校生活、また部活動に励みたいと思います。ありがとうございました。

やさしい家族と出会えて



泰野小学校 6年 宮田 将吾

対面式の後、ホストファミリーのお父さんから「よろしく!!」と声をかけてもらい、緊張していた僕は、ホッと安心しました。おいしい食事や温かい会話でもてなしていただき「ホストファミリーと仲良くなれるかな」という心配が消え、リラククスして過ごすことができました。夏には、僕の家にもホームステイした廣伸君とすぐに打ち解けることができ、ゲームをしたり温泉に入ったりして、久しぶりに会ったことを忘れるぐらいでした。おばあちゃんにもいろいろと話しかけてもらいました。方言はあったけれど、僕に合せてくれてすごく話しやすかったです。



泰野小学校 6年 上原 純奈

山形に行く

一番楽しみにしていたスキーは、想像以上に楽しかったです。スキー板をはめて歩くことから始めて、転び方の練習の後、滑りに挑戦しました。お父さんがとても分かりやすく教えてくれました。すぐにコツをつかめて滑れるようになってきて、何度もリフトに乗って一日中滑りました。雪の上をスピードを出して滑って降りるスキーはすごく楽しいでした。飛行機からは山に白い雪があるのが見えました。しかし、町に着くと雪はなく、1時間ほど行ったところのスキー場がありました。「今年が雪が少ないな」とお父さんが言っていました。「地球温暖化」を学校で習いました。あまり良くわからないのでこれからもっと調べようと思いました。東京研修では、国会議事堂の見学をすることができました。衆議院議場はとても広く、ここで法律を作るのだと説明されました。今、社会の時間で国会のことを勉強しているのでも良かったと思いました。この研修でいろいろな体験ができたのは、楽しく過ごすことができたのは、ホストファミリーの方が温かく接してくれたり、引率の先生方が優しく教えてくれたからだと感謝しています。この研修で意思表示をしつかりとして、何にでも積極的に行動することが大切だと学びました。この経験をボランティアや学校生活に役立てて行きたいと思いました。

山形研修を終えて



志布志小学校 6年 若松 汐里

私は、この青少年研修に自分から進んで応募しました。山形県の雪国体験、スキー体験がしたかったからです。夏休みには、山形県から友達があつたの家にホームステイをしました。初めてその子と空港であつた時は、「この子が来るんだ。早く友達になりたいな。」と思っていました。私が思っていたとおり、その子とはすぐに仲良くなれて、不安だった気持ちが少しずつ消えていきました。高千穂牧場に着いたとき、みんなで牛や馬などを見て楽しみました。フリーデーの日は、都井岬、鶴戸神宮に行きました。都井岬では、とてもきれいな海を見ました。鶴戸神宮に向かう道で猿がいたり、馬がいたり、鹿児島に住んでいる私でもビックリしたもので、山形から来た万耶ちゃんもビックリしていました。家では山形のことをたくさん教えて

おにぎりおやつで元気もりもり！ おにぎり大作戦推進プラン

■問い合わせ先 教育委員会生涯学習課 TEL 472-1111 (内線265)

今回は食から少し離れて、子どもたちの生活面について目を向けて、食との関連性を考察してみました。

下左のアンケート結果からもわかるとおり、子どもたちは、地域や自然の中で遊んだりする機会が減り、もっぱら室内で遊ぶケースが大部分を占めています。体を動かさなければ、体は栄養を欲しがりません。また、摂取した栄養は、消費されず肥満や成人病の原因にもなりえます。

また、下のアンケート結果からは、家庭で手伝いをしない子どもの割合が増えつつあることがわかります。手伝いは、家族の一員であるという自覚を子どもに持たせる上で、非常に大きな意味があります。さらに、食事の準備や後始末の手伝いを通して、団欒の場である食事を家族みんなそろってとることが、子どもの人格形成やコミュニケーションの力を育てると考えられています。このように、食だけ

でなく、生活全てを考えて、子どもたちを育てていくことが大切です。

しかし、子どもたちの日常生活の様子を見ますと、昔にくらべ、異年齢で活動したりすることが少なくなり、地域の方との交流のない子どもたちが増えてきているようです。このような現状から、本市では、子どもの健全育成のために、食育の確立と基本的な生活習慣の定着を目指した「おにぎり大作戦推進プラン」と併せて、「地域が育む『しぶしっ子』育成プラン」の推進を図っています。

これは、家庭、学校、地域が一体となって、自然体験やボランティア体験など、様々な体験活動を通して、心豊かでたくましい子どもを育てていこうというプランです。

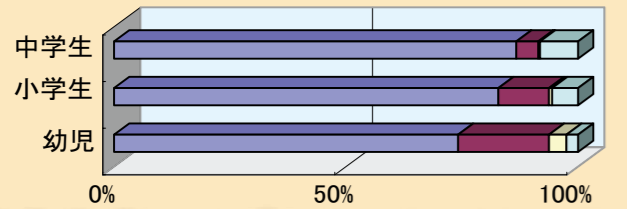
現在、食育を基本に、知育、徳育、体育の充実を図るための地域ぐるみの活動が、市内各地で展開されています。

志布志市の子どもたちは・・・

「食育」に関するアンケート調査（平成18年10月実施、対象：志布志市内幼児～中3、回収数合計2566人）結果より。

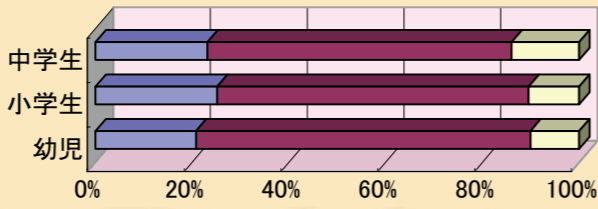
帰宅後や休みの日は、どこでよく遊びますか？

■自宅や友人宅 ■運動場や公園 □山や川等 □その他



家庭で手伝いをしますか？

■毎日する ■ときどきする □ほとんどしない



地域が育む『しぶしっ子』育成プラン 子ども達に いろいろな体験活動の機会と場を与えましょう！

公民館など地域が提供する体験活動

あおぞら農協青壮年部の協力で農作業体験(有明保育所)

三世代力をあわせての地引網を体験(下通山子ども育成会)

子ども会などの団体による体験活動

学校が地域と連携して行う体験活動

地域の方の指導で赤米の田植え体験(通山小学校ミニ水田)

生きる力を学んだ田舎暮らし通学学舎(農業歴史資料館)

青少年の施設が行う体験活動

市内各地で鹿児島県の教育的な伝統や自然、風土文化など鹿児島県のよさを生かした体験活動が行われています。

- こんな『しぶしっ子』が育ちます。
- 郷土に誇りと愛着を持った子ども
 - 思いやりのある子ども
 - 心身を鍛えるたくましい子ども



人と協調できる社会性豊かな大人になります。

教育委員会情報ネット

もらいました。聞いたことのない方言ばかりで、さっぱり分かりませんでした。もちろん、鹿児島の方言もたくさん教えてあげることができました。良かったと思います。でも、友達になれたし、「これから」という時にはもう帰る日でした。3泊4日とは思えない程、あつという間に終わってしまいました。お別れはとても悲しかったけど、また12月に会えるのが何よりの楽しみでした。12月まで長いなあと思っていましたが、あつという間に12月22日が来て、いよいよ会えるんだなあという気持ちでいっぱいでした。

私は、山形には最上川があるので、ぜひ見たいと思っていました。山形県酒田市に着いて、山形の団員の方達と久しぶりに会いました。久しぶりだったので、早く遊んだりおしゃべりしたい気持ちでいっぱいでした。自己紹介などした後、お世話になる菅原万耶ちゃんの家に行きました。家族の皆さん、優しくかったです。夜はとにかく寒かったです。

僕は、夏の受入のとき、入院した友達を受け入れるはずだった人も受け入れられました。人数が多くて楽しかったです。僕は、入市式でスピーチをしました。緊張したけどしっかりとできたと思います。ホームステイ受入れ最後の日に、入院した友達とも食事をしました。山形研修には、羽田空港で乗り換えて、庄内空港に行つて市内めぐりをしました。

その後、相馬君たちに会つて家



志布志小学校5年 有田 伊織

ビックリしたのは、田んぼにアイガモがたくさんいたことです。鹿児島では見られないアイガモが、山形で見ることができ本当に良かったと思います。

とうとうお別れの日が来ました。別れる時、最後まで手を振っていました。私は、この青少年研修を終え、鹿児島と山形の文化のちがいが、鹿児島ではできない体験などいろいろなることを学ぶことができました。私は、今年中学生になります。残りの小学校生活と、中学生になってから、この研修で学んだことを活かせるようにと思いました。最後に、山形のただちや、ががちや、あんちや、じんじ、ばんば、ありがとうございまして。

へ向かいました。次の日、スキー体験に行きました。最初に基本を教えてもらい、その後リフトに乗ってすべりました。僕は、みんなと一週遅れだったけど、一生懸命やりました。次の日もスキーをして、とても楽しかったです。でも一回もこけませんでした。

とても楽しかったです。東京では、国会議事堂へ行きました。とても広くてびっくりでしたし、会場もたくさんの方が入るのにおどろきました。東京から鹿児島への飛行機の中では、疲れてぐっすり寝てしまいました。とてもいい経験でした。



宇都中学校1年 大野 優姫

12月22日の朝、山形に行けるといふ思いで心が浮いていました。バスに乗って、1時間が過ぎ、鹿児島空港に着きました。「よし、初めての飛行機、どんなものだろう。早く乗りたいなあ」と思っていました。宙に浮いたとき、窓の外を見たら雪のような綿のような雲の海でした。

羽田空港の大きさにも驚きましたが、ターミナルにバスで行くのにびっくりしました。庄内空港に着いたとき、雪の世界について、雪は少しも降っていません

した。とてもがっかりしたけど、周りの風景がぜんぜん違いました。入市式の後、各家庭にホームステイすることになっている伊藤家から、有美子ちゃんとお母さんが迎えに来ていて、久しぶりの再会でした。次の日、湯殿山にスキーをしに行きました。午前中は、滑り方の基本を練習し、午後に初級コースをすべりました。最初は、とてもできそうにない滑りだったのに、2、3回滑るうちにとても上達しました。この日は疲れて、すぐに寝てしまいました。

次の日は、フリーデーでした。スキーに行きたかったので、また湯殿山に行き、初級コースではなく、中級コースを滑りました。急でもなく、なだらかでもなく中途半端な坂でしたが、滑っていても「ああ、どうしよう。止まらない。」と、雪の中につこんでしまいました。それでも何回も滑りました。一晩があげ、山形の人達とお別れになりました。ホストファミリーの人達にはお世話になりました。飛行機に乗って東京へ行き、初めての東京に驚きました。なんでもこんなに空気が汚いのかと思いました。

国会議事堂を見て、東京タワーに行つて、何がなんだか分からないままホテルに行きました。この山形で3泊、東京で1泊。とても長いようで、短い時間でした。また自分でお金を貯めて行きたいです。

～友の唄が聴こえる～ 南 こうせつコンサート

2007.2.18 (日)
志布志市文化会館 チケット好評発売中!
開場 17:30 開演 18:00
全席指定 S席 5,000円(税込)
A席 4,500円(税込)
■前売券 市文化会館で好評発売中!
■問い合わせ先 市文化会館 (TEL 472-3050)



『佐賀のがばいばあちゃん』

島田洋七氏
『おばあちゃんと今の俺』
■日時 平成19年2月22日(木)
開場 18:30～ 開演 19:00～
■場所 志布志市文化会館 ■前売券 500円(自由席)
■問い合わせ先 志布志市文化会館 TEL 472-3050
※前売券好評発売中!(市文化会館・やちくくふれあいセンター・農業歴史資料館・島津・くにみ書店・三味堂・アピア)



感慨深げに卒業証書を手にし！
創年市民大学第2期生15人

まちづくり市民大学として、協働時代に輝く創年と子どもたちをテーマにした志布志創年市民大学の第二期生の卒業式が1月16日、志布志市文化会館で行われました。

六月に開校した大学は、地域学、環境学、子育て支援等をキーワードに一村一品運動の発祥の地、大分県日田市大山町や豊後高田市の昭和の町商店街への修学旅行や、まちづくりの手法を学ぶ「しぶしI K I I K I 夢発見塾」、子どもの視点でまちの観光を発見する「平成子どもふるさと検地」、全国の志の付く自治体を中心に開催した「第2回生涯学習まちづくり志縁サミット」など17回のプログラムが校歌「桜の木の下で」をバックに走馬灯のようにオープニングで紹介され、卒業生は感慨深げでした。

全国のまちづくりを実践している第一人者を講師に迎えて学び、原口泉学長（鹿児島大学教授）から一人ひとり、激励の言葉を受けながら卒業証書を手にした15人の卒業生は、志布志市が提唱する「共生・協働・自立の生涯学習のまちづくり」の仕掛け人として、高い志を誓い合っていました。

卒業生の柿元まゆみさんは「最初は、遊び心で参加した市民大学でしたが、一流の講師の話を身近に聞き、ワークショップや先進地研修の中にまちづくりの視点が大きく変わりました。これからは、更に大学院に進み、新生志布志市のまちづくりを調査・研究し実践していきたいです」と新たな目標を掲げた瞳は輝いていました。



卒業証書を手にした第二期生15人が巣立ちました



松山地区の成人式後の親子でのスナップ写真

成人式おめでとう二十歳の出航

志布志市では1月1日に松山地区、3日に有明地区、5日に志布志地区で成人式が開催されました。今年の新成人は、昭和61年4月2日から昭和62年4月1日生まれの方が対象で、市内で523人が大人の仲間入りをしました。1日、やっつくふれあいセンターで行われた成人式は新成人60人をはじめ関係者が多数出席し、厳かに行われました。式では新成人を代表して馬場光子さんが「ふるさとを大切に思い、社会に貢献します。これまで、育ててくれた親や、地域社会に感謝します」と20歳の謝辞と抱負を述べました。



市長から目録を手渡されました（有明地区）



多くの方が新成人を祝いました（志布志地区）



抱負を述べる馬場さん

第2回志布志ジョガー駅伝大会

1月21日、小雨の降るなか志布志陸上競技場でジョガー駅伝大会が開催され、市内外から71チーム、355人が参加し健脚を競いました。1区間2・72キロの運動公園周辺周回コースを5人のたすきリレーでつなぎ、合計14キロ（小学生は1・52キロの5区間）を走りました。なお、大会の結果については次のとおりです。

- 総合の部
 - 1位 尚志館クラブB 44分16秒
 - 2位 祁答院ランナースのもの 46分31秒
 - 3位 尚志館高野球部A 48分9秒
- 女子の部
 - 1位 尚志館高校陸上部A 53分40秒
 - 2位 マジカルランナースC 1時間6分34秒



小学生の部に続きスタートした一般・中学生の部



ジョガー (jogger) = 「ジョギングをする人」

- マスターズの部
 - 1位 マジカルランナースD 52分6秒
- 小学生男子の部（計7・6キロ）
 - 1位 SKRC (A) 26分49秒
 - 2位 マジで速いぜ 27分58秒
 - 3位 寿小A 28分36秒
- 小学生女子の部（計7・6キロ）
 - 1位 SKRC (C) 30分17秒
 - 2位 松中少バレーボール少年 32分45秒
 - 3位 松山ジュニア陸上W 33分26秒
- 中学生男子の部
 - 1位 百引中A 46分56秒
 - 2位 松山中陸上部男子 47分39秒
 - 3位 志布志中学校 51分38秒
- 中学生女子の部
 - 1位 百引中 48分47秒
 - 2位 松山中陸上部女子 59分19秒
 - 3位 祁答院ランナースジュニア 1時間3分03秒
- 申告タイム賞
 - 1位 マジカルランナースD 誤差1秒

第34回曾於地区教育振興大会

1月20日、志布志市文化会館で、曾於地区内から約850人が参加し、曾於地区教育振興大会が開催されました。開会行事の後の教育功労者等の表彰式では、地区内6人、1団体が表彰を受けました。本市からは、旧松山町教育長の金子末房氏と旧志布志町教育長の一木弘文氏、そして、結成14年目となる有明魁伝太鼓が、これまでの教育行政や文化振興への業績を認められました。

教育活動発表の後、ジュニア有明魁伝太鼓の小学生4人、高校生4人による元気な太鼓の演奏に参加者からは、大きな拍手が起きました。最後に、昨年夏の全国高校野球大会でベスト4に進んだ鹿児島工業高校野球部監督の中迫俊明氏の「夢の舞台 甲子園」と題した講演が行われ、甲子園大会出場までの苦労や大会での裏側など、部員一人ひとりにスポットを当てながら、とつとつと話される姿に、参加者らは目を潤ませながら聞いていました。



講演を行う中迫氏

第61回県民体育大会曾於大会
志布志市実行委員会設立総会

1月24日に、本年9月に開催される第61回県民体育大会曾於大会の志布志市実行委員会の設立総会が、有明農村環境改善センターで、関係機関・団体の代表者の皆様の出席のもと、開催されました。これまでの経過報告のほか、志布志市実行委員会会則・役員及び委員等についての審議がなされ、提案どおり可決されました。

県民体育大会は曾於地区を中心に開催されますが、志布志市では総合開閉会式のほか10種目の競技が開催される予定です。詳細については次号にて紹介します。

県民体育大会に関するお問い合わせは下記の県民事務局までご連絡ください。

■問い合わせ先
大会事務局（志布志市教育委員会生涯学習課生涯スポーツ係内）
Tel. 47211111（内線264）



設立総会であいさつする瀬戸口助役



図書館へ行こう

新刊案内

■「僕の歩く道」橋部 敦子著
 先天的な障害で10歳児程度の知能までしか発達しなかった31歳の自閉症の青年大竹輝明が、壁にぶつかりながらも必死に生きる姿を描く。関西テレビ・フジテレビ系で放送されたドラマのシナリオをもとにした完全ノベライズ。

■「鹿屋ファイルの秘密」デイヴン・ナイア著
 インド独立運動の志士チャンドラ・ボースとともに消えた莫大な財産。その秘密が記された「カノヤファイル」は、特攻隊員の婚約者だった料亭の若女将に託された…。気鋭のインド人作家が放つ、長編歴史推理小説。

図書館情報

★BOOKS

休館日カレンダー(本館)

February 2月						
日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			
March 3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17

●: 休館日

○かみふうせん読み聞かせ会 14時～
 ○毎月第4土曜日読み聞かせ会 14時～

■図書館まつりお知らせ
 2月24日(土) 市立図書館(本館)
 10:00～ ブックマーケット
 14:00～ 読み聞かせ会

毎月23日は「子どもといっしょに読書の日」

※市立図書館の松山分館及び有明分館は、図書館システムの電算化に伴う準備のため、3月まで休館させていただきます。休館中は利用者の皆様にはご迷惑をかけますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、休館中は本館及び志布志・香月・安楽の各分館をご利用ください。

※松山分館・有明分館に返却ポストを設置しましたのでご利用ください。

指定校以外の学校への通学について (お知らせ)

学校への通学につきましては、これまで指定された学校への通学が原則となっておりますが、平成19年4月1日から、この規制が緩和され次のような理由があればできるようになります。

理由	許可基準	許可期間
転居に関する理由	学年途中で転居したが、学年が終了するまでは元の学校に通わせたい場合	学年終了時まで
	指定学校区以外への転居が確実なため、転居先の指定学校へ通わせたい場合	転居時まで
地理に関する理由	指定学校へは遠距離で通学が困難なため、近い学校に通わせたい場合	卒業時まで
身体に関する理由	特殊学級に入級させることが認められながら、指定学校に特殊学級がない場合	特殊学級をやめる時まで
	健康上の問題があり、指定学校に通学することが困難な場合	保護者からの申立期間を検討して定める期間
市立小学校及び中学校以外の学校への就学に関する理由	私立小学校及び中学校又は国公立大学附属小学校及び中学校へ就学させたい場合	退学時又は卒業時まで
保護者の就労等による下校後の保護に欠ける留守家庭に関する理由	保護者の就労等の理由により下校後の保護に欠ける状態にあり、保護者が指定学校を児童・生徒の預かり先等の学校へ就学させたい場合	
兄弟姉妹と同一の学校への通学に関する理由	指定学校の変更の許可を受けた児童・生徒の兄弟姉妹について、保護者から指定学校を当該許可の学校へ変更するよう申立てがあった場合	申立期間
その他	住民票と実際の居住地が合わない場合	保護者からの申立期間を検討して定める期間
	いじめ、不登校、登校拒否等の解消のため、他の学校に通わせたい場合	保護者からの申立期間を検討して定める期間
	部活動等学校独自の活動により、他の学校に通わせたい場合 その他やむを得ないと認められる事情がある場合	保護者からの申立期間を検討して定める期間

※申立ての手続きや添付書類については、志布志市教育委員会教育総務課までお問い合わせください。
 ■問い合わせ先 志布志市教育委員会 教育総務課 Tel 472-1111 (内線 233)



平成18年度志布志市


生涯学習フェスティバル

2月24日(土)～25日(日) 志布志市文化会館

生涯学習まちづくり講演会(第1部)

講師 稲盛和夫氏

■24日(土) 11:00 開演 入場無料
 演題「人は何のために生きるのか」



・1932年、鹿児島市生まれ。京セラ(株)とKDDI(株)を設立。現在、名誉会長で最高顧問。また、全57か所、3,900人余の若い経営者が集まる経営塾「盛和塾」塾長として経営者の育成に心血を注いでいます。

※会場の都合により入場できない場合がありますので、ご了承ください。

24日(土) 9:00～15:30 生涯学習推進大会

9:30	オープニング
9:40	開会行事 教育功労者・花いっぱいコンクールなどの表彰
10:30	おにぎりフェスタ おにぎりコーラス・米作り体験発表など
11:00	生涯学習まちづくり講演会(第1部)
12:30	昼食
14:00	生涯学習まちづくり講演会(第2部)


25日(日) 9:00～17:00 グランドフィナーレ

9:20	舞台発表(第1部)
10:00	開会行事・表彰
10:40	舞台発表(第2部)
12:00	昼食
12:50	舞台発表(第3部)
16:20	お楽しみ抽選会

生涯学習まちづくり講演会(第2部)

講師 水谷修氏

■24日 14:00 開演 入場無料
 演題「夜回り先生のごころの授業～あしたの元気にああれ～」



・1956年、横浜生まれ。高校教諭で生活のほとんどを少年の非行・薬物問題に捧げ、「夜回り」と呼ばれる深夜パトロールを行い、若者の更生に尽力。またメディア出演や日本各地での講演を通して、少年非行の実態を広く社会に訴え続けています。

※中学生以上の聴講を対象とし、中高生は保護者との聴講をお願いします。

※申込締切: **2月13日(火) 必着**
 往復はがきを生涯学習センターまでお送りください。折り返し、返信はがきにて、入場整理券を発送します。当日は、入場整理券を必ずご持参ください。全て自由席となります。(応募者多数の場合は抽選)

■往復はがきの記載の仕方

【返信面】 左側……①応募者の郵便番号・住所・氏名
 右側……②氏名 ③人数 ④郵便番号
 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦FAX番号
 ⑧緊急連絡先(携帯電話等)

【送信面】 左側のみ・生涯学習センターの宛先

【返信面(両面記入)】

<input type="checkbox"/> ①応募者の住所氏名	②氏名 ③人数 ④〒 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦FAX番号 ⑧緊急連絡先
------------------------------------	---

【送信面(左側のみ記入)】

<input type="checkbox"/> 899-7103 志布志 2238-1 志布志市文化会館内 生涯学習センター宛	※ く だ さ い で 何 も 記 載
---	--

展示発表・特設ブース等

(ロビー・集会室・ふれあい広場等で)

ふれあい体験 短時間での押し花作りや着付体験(はがき代100円が必要です)

おにぎりコーナー おにぎりの試食や、おにぎりロボット実演など

各種バザー 有用品や手作りケーキ、花苗などが格安

昼食バザー 女性会のおふくろ亭が開店

作品展示 生涯学習講座の作品の数々を展示

つけもの名人コンクール

～世界にオンリーワンのあなただけの味を～

つけもの名人募集!

■作品納入日 2月24日(土)
 ■納品場所 生涯学習センター
 ■審査日時 2月25日(日)11時から14時
 ■審査方法 一般投票により決定します

■問い合わせ先 志布志市生涯学習センター Tel 472-3050

※講演会等に関する問い合わせは志布志市生涯学習センター(Tel 472-3050)までお願いします。

「さんふらわあ」志布志航路存続のために ～各種団体の支援策～

「さんふらわあ」が存続するには、3億円ともいわれる年間の赤字がなくなることが必要だと考えられます。

そのため、県を中心として、大隅半島4市5町で組織する大隅総合開発期成会や、「さんふらわあ」を利用する鹿児島県トラック協会、荷主であるJAなどの各経済団体、そして志布志市で、支援策を検討してきました。

1月30日、鹿児島県庁で、第2回鹿児島県志布志・大阪航路存続対策協議会が開催されました。

その中で、伊藤祐一郎鹿児島県知事は、「今回まとめた支援策は、株式会社ブルーハイウェイライン西日本が、志布志～大阪航路からの撤退計画を撤回することを前提にまとめた」と話されました。

今回まとめた支援策は、2月8日に県企画部長がブルーハイウェイライン西日本を、2月16日に伊藤知事が、親会社である商船三井をそれぞれ訪問して伝えることとなります。



各種団体が「さんふらわあ」航路存続に向けて努力しています

各種団体の主な支援策

■鹿児島県関係

- ・港湾施設使用料の減免
- ・都城・志布志道路等アクセス道路の早期完成への取り組み
- ・さんふらわあを利用するためのセールス活動

■大隅総合開発期成会関係

- ・利用促進の懸垂幕の掲示
- ・修学旅行の斡旋
- ・スポーツ合宿や旅行会社への「さんふらわあ」PR

■志布志市関係

- ・水の使用料に対する支援
- ・郷土会や市民が参加する旅行、市内中学校の修学旅行に対する助成
- ・さんふらわあを利用した学生の合宿への助成
- ・関西方面の関係の深い市町村との交流事業を通じた利用促進

■経済界関係

- ・社団法人鹿児島県トラック協会は、会員の運送事業者に対し「さんふらわあ」の利用促進を強く働きかける。
- ・社団法人鹿児島県トラック協会は、さんふらわあから値上げ等の要請があった際には、志布志港を撤退した場合における輸送コスト増を上回らない範囲内において、誠意を持って対応する。
- ・鹿児島県志布志・大阪航路存続対策協議会は、荷主事業者各社に対し、「さんふらわあ」の運賃引き上げ又はバンカーサーチャージを上回らない範囲内において、運送事業者による運賃転嫁に配慮するよう働きかける。

※バンカーサーチャージとは燃料価格調整金のことです。

日本最大級の最新鋭^{しゅんせつ}浚渫兼油回収船が「志布志港」にやってきます!!

～「海翔丸」一般公開のお知らせ～

国土交通省九州地方整備局ではこの度、志布志港において当局所属の浚渫兼油回収船「海翔丸」の航海訓練を予定しており、これに併せて「海翔丸」船内等の一般公開を行います。

「海翔丸」は、平成12年9月に九州地方整備局（当時は第四港湾建設局）関門航路事務所（福岡県北九州市）に配備された日本最大級の最新鋭浚渫兼油回収船で、普段は関門海峡の海底の土砂をさらって、船の通る道である航路を整備する浚渫作業を行っています。大規模な油流出事故が発生した場合は、現場へ急行し油回収作業を行います。現在、外洋における大量油流出事故に対応できる大型油回



日本最大級の最新鋭浚渫兼油回収船の海翔丸

収船は、全国で「海翔丸」・「清龍丸（名古屋港）」・「白山（新潟港）」が配備されており、この3隻により出動から48時間以内に全国をカバーできる体制で、日本周辺海域を大規模な油流出事故から守っています。

このように「海翔丸」は、美しい海の環境と航行する船の安全を守るとも重要な船です。

この機会にぜひご覧ください。

一般公開

■日時 2月25日（日） 10:00～14:00

■場所 志布志港 旅客船ふ頭岸壁

■その他 入場無料、パネル展示等実施

※本船は作業船ですので、車椅子等乗船できない場合があります。

※荒天の場合や油流出事故等で緊急出動した場合、中止する場合がありますので予めご了承ください。

■問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局 志布志港湾事務所

Tel 099-472-3831 携帯 090-5735-1119

海翔丸（総トン数 4,651ト、全長 103.2メートル）

■問い合わせ先 企画政策課男女共同参画係 Tel 474-1111(内線 255)

パートナーからの暴力など、男女共同参画に関する悩み、情報がありましたらご連絡ください。秘密は固く守ります。



男女共同参画社会
の実現を目指して

Vol.12

男女で作る うるおいと活力あるまち

みんなが主役の講演会を開催します

- テーマ 人生を楽しむ ～志布志市グループ紹介～
 - 日時 2月17日（土） 午後1時30分～5時
 - 場所 有明農村環境改善センター（市役所となり）
- さまざまなグループがいきいきと活動する発表を聞いてみませんか。市民の皆様のご参加お待ちしております。
- 志布志市で夢を持って活動されているグループ、人生を楽しんでいるグループ、子育て・介護の現場で活動中のグループなどの活動を紹介する「みんなが主役の講演会」を開催いたします。

「あなたの宝物で・・・あなたが主役に」

旧志布志町で女性メンバーを中心に発足した「いちの会（川畑充子代表）」は、女性のまちづくり活動として、毎週土・日の午前9時から午後3時まで「げんき市」を開催しています。

この「げんき市」は、家庭菜園等で栽培された安心・安全な野菜、食品、雑貨等の販売を通して、人とのふれあい、情報交換の場として広く地域住民の方が利用しています。

そのような中、昨年、志布志市として新たにスタートしたことから、志布志地域はもちろんのこと、松山地域や有明地域を含めて、より多くの方々と一緒になって運営していきたいと考えております。（手続きは一切不要です。）

「お茶飲みがてらおじゃったもんせ！」



「げんき市」には元気があふれています!

げんき市ではあなたの参加を お待ちしております

「げんき市」には毎回多くの利用者が訪れます。これは新鮮な野菜や郷土菓子を求めて多くの方が来られるのはもちろんですが「ここに来るとホッとすると多くの方に愛されているからだと思えます。

しかし、最近はせっかく来られても商品が早々に完売となっている状況が続いています。そこで、皆様の愛情のこもった下記の商品をお待ちしています。

■げんき市で募集している商品

- ・家庭菜園で多めに収穫した野菜や規格外で出荷できない野菜
- ・郷土菓子、食品
- ・趣味でつくった雑貨
- ・絵画や陶芸などの展示

など、数多くの身近にある素材を求めています。活動に参加、又は協力いただける方（性別は問いません）は是非ご連絡ください。お待ちしております。

■問い合わせ先 げんき市

Tel 472-1466（三味堂：川畑充子）

携帯 080-5246-7111

（げんき市開催時のみ通話可能）



男女共同参画推進講演会

1月15日、農村環境改善センターで、男女共同参画推進講演会を開催しました。

市ではお互いの人権が尊重される男女共同参画社会の実現を目指し、豊かなまちづくりを推進していくために行われたものです。

講師のみやざき中央新聞編集長 水谷謹人氏は、男女共同参画社会は、「お互いの思いやりと理解が大切である」と楽しくわかりやすく話され、参加された市民の方々は笑いありで熱心に聞きっていました。

同じく男女共同参画に関する職員研修会を開催し、「男女共同参画社会の誤解と理解」と題し、職場における共同参画の必要性について研修を受けました。



多くの方が水谷先生の話に共感を持たれました



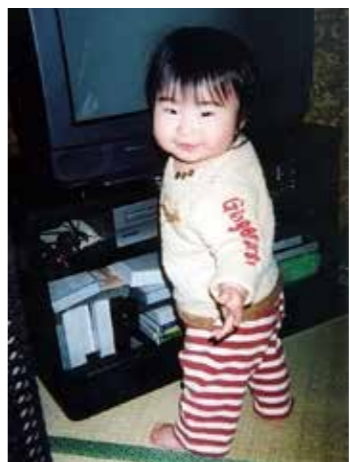
手入れの行き届いた庭で記念写真

あたらや 元気やこぼ

たつよし
辰良さん(89歳)・イコさん(88歳) 松山町尾野見
辰良さんは90歳を迎える現在でも、愛用の原付バイクに乗り市内に住む友人宅を訪れています。
「朝出かけたなら友人の家で昼食をごちそうになったりして夕方まで帰ってこないことも多いんです」と妻のイコさんは話します。
朝は7時頃に起床し、夜は7時30分位には就寝します。趣味は20年程前から始めた花の世話で、200鉢程の様々な草木がきれいに手入れされています。また庭のツツジなどの剪定も行き届いています。
健康の秘訣は、起きたときと寝る前に水を飲むことと、牛乳を飲むことと話し、刺激物はできるだけ食べないようにして、栄養が足りないと思ったら卵やカロリー補助食品を摂るそうです。
若い頃はさつま芋を栽培し、養豚業にも精を出しました。
都会にいる5人のひ孫に会うのを楽しみに、夫婦仲良く地域とともに暮らしています。



まいちゃん(6歳)・大輝ちゃん(4歳)
愛依ちゃん(2歳) (松山町新橋)
父 広行さん 母 美幸さん
しっかり者の真衣お姉ちゃんを先頭にとても仲の良い3人兄弟です。3人ともいちごが大好きで、取り合いをして食べています。
最近「かるた」取りにはまっています。「お世話好きな真衣・いつもニコニコな大輝・お話し好きな愛依・いっぱい幸せをありがとう(両親より)」



真衣ちゃん(6歳)・大輝ちゃん(4歳)
愛依ちゃん(2歳) (松山町新橋)
父 広行さん 母 美幸さん
しっかり者の真衣お姉ちゃんを先頭にとても仲の良い3人兄弟です。3人ともいちごが大好きで、取り合いをして食べています。
最近「かるた」取りにはまっています。「お世話好きな真衣・いつもニコニコな大輝・お話し好きな愛依・いっぱい幸せをありがとう(両親より)」

未来ちゃん(1歳)
(志布志町安楽)
父 清文さん 母 広子さん
ハイハイ&つたい歩きでどこへでも。(時々立って1歩、2歩と進みます)よく動き、何でも食べる元気な未来です。「ニコッ」というとニコッと笑い、まわりをなごませてくれます。
だれにでも優しい女の子になってね!



文芸

短歌 (南船松山短歌会)

娘ら遠く琴の生徒にハッピーバースデーケーキ頂く八十路の夕焼け
カンボジヤシエムリアップに物を乞ふ足失ひし子らの寄り来る
日照りつづくからいも畑に花二輪ひと咲きしを花瓶に活くる
保育園の運動会にと宮崎へ何処も稲の刈り入れ最中
シベリアの戦の深さ今もなお語りつづけし夫の友逝く
麻痺の手でつげやつつじの剪定しかたち整い庭庭
真つ先に席を取り合図する先生の気配りやさし琴の試験場

大谷 博務
丸目南兵衛
吉利 富士
藤後 一雄
畑山 敏昭
宮原 照見
吉中 演亮
野崎 満夫

車椅子に囲まれた老人ホームの餅搗パンザイ
巻尺の舌をひきだす冬すみれ
天と地を真つ二つにして初日さす
人間になれましたかと涅槃寺
先生が標的になる雪合戦
寒い夜は亡母の味付け粥仕立
マグマの上に生き 大根の花を咲かす

畑 美佐子
前原 恭
永田ミツエ
山口 良子
隈元 チエ
野口 順子
石橋 道子
竹田 萍
吉田 十二
若松田鶴子
暉峻 康瑞
天水美保子
脇岡ちか子
藤後むつ子

俳句 (左右句会)

走り根につまづいてをり初詣
もちの妻の真つ赤ぞ冬の空晴れて
凧や箆の手入れの蟹が舟
刀身の打粉をぬぐふ冬座敷
いのちには美醜などなし草枯るる
山頂に太鼓轟き初日待つ
襖絵に冬日斜めに暮れにけり
凧揚げや風をこの手に独り占め
二人して仰ぐ満月入籍す
掛大根日は惜しみなく恙無く

南 史郎
内村くみ子
小宮 展子
中園 茂甚
西 恭子
肥後 洋子
日高 禎子
牧 愛子

濱松 精志
河野 通人
富山 達次
米澤 二郎
森下 純吐
富山 茂子
和野千恵子
北野 治美
吉村 万里
和田 洋文

短歌 (はなさい短歌会)

きさらぎの光は白し頭の中も指先もしらしらと暮れゆく
ストリートバスケットに興じて少年ら夢中で走り転んで泣いた
寒中に咲く水仙の凛とした五つの花弁春呼ぶ気持
高下駄もコマ・凧いらぬ亥年明け子らは親指喜々と押す日々
侘び助の根元を囲む水仙の白い寡黙に詩韻が揺れる
摘まれねば踏まれしならんひともの牧場の重きさらぎ無惨
透明な心となるため手を合す神に負けてる姿うつくし
書初めに「命」の文字をまねて書く心豊かに八十路に向かう

しぶしポートマラソン 2007

平成19年3月18日(日)

出場者募集中!

<http://www.runnet.jp>でもエントリーできます

- 種目 ハーフマラソン 21.0975km 9:30 スタート
3km 9:35 スタート 5km 9:40 スタート
ファミリーコース (1.5km) 9:45 スタート (スタート・ゴールは志布志市陸上競技場です)
- 制限時間 ハーフマラソン3時間 (その他関門として 10km → 1時間30分、15km → 2時間30分)
- 参加資格 小学生以上の健康な方。(ハーフは18歳以上)

※詳細は大会事務局までお問い合わせください。

■申込期限 平成19年2月16日(金) 当日消印有効
■申込・問い合わせ先 しぶしポートマラソン大会事務局 (志布志市教育委員会生涯学習課内)
Tel 099-472-1111 (内線 264)
※申込書は教育委員会事務局・各教育支所・市内体育施設にあります。



尚志館高等学校陸上部の生徒と坂中さん

きらり青春

伸作さん(有明町) 23歳
勤務先: 尚志館高校(体育)

趣味: マラソン
休日の過ごし方: 友人と買い物に行ったり、飲みに行ったりします。(それが20km以上の走りこみ)
夢は: 県下一周駅伝で総合優勝!
自分の教え子が県下一周や全国大会で活躍すること。

志布志市に何を望みますか:
マラソン人口が増加して欲しい。スポーツで健康とまちの活性化を図ってほしい!

先輩から一言(後藤健太さん): 何事にも一生懸命な伸作君。その調子で、これからも夢に向かって頑張ってください!
県下一周駅伝まであと少し。お互いチームに貢献できるように頑張ろう!

2007.2 ■市報しぶし 28

乳幼児医療費助成制度の受給者の皆様へ

平成19年3月1日から病院等の医療機関で受診した場合の助成を受ける手続きが簡素化されます。

■改正内容

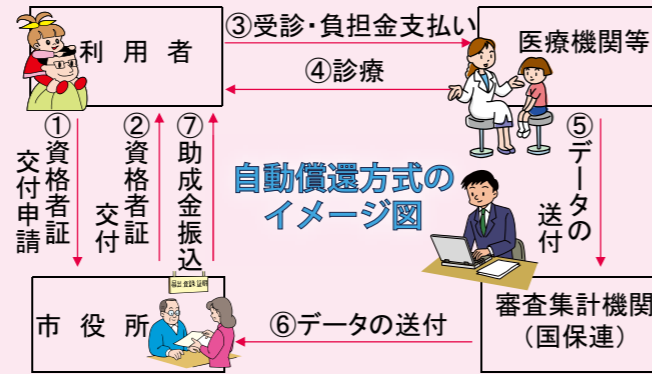
現在、乳幼児医療費助成を受けるためには、毎月、助成申請書に医療機関等の証明等を添えて市に申請しなければいけません。

この申請に要する利用者の手間や負担を軽減するため、助成方法を「自動償還方式」に改めます。

■自動償還方式のしくみ

この「自動償還方式」とは、市が交付する「乳幼児医療費助成金受給資格者証」と保険証を提示して受診し、保険診療に係る自己負担金を支払えば、その後は、助成申請書を提出する必要はなく、助成金は、後日、指定口座へ自動振込となる助成方法です。(県内医療機関等に限り)

これは、利用者の皆さんが医療機関等で支払った自己負担額を、医療機関等が審査集計機関(国保連)に報告し、審査集計機関がその集計結果を市に通知することにより、皆さんが医療機関等で支払った金額に応じて助成額を計算して自動的に助成を行うものです。



■改正時期

自動償還方式による取扱いは、3月1日診療分からです。それ以前の診療に係る分や県外受診分は、従来とおり助成申請書を提出していただく必要があります。

■必要な手続

新しい「乳幼児医療費助成金受給資格者証」の交付を受け、助成金の受け取り口座を登録する必要があります。

公有財産(土地・建物)を売り払います 入札参加のお知らせ

本市の公有財産を、一般競争入札により次のとおり売り払います。

■売り払い物件

所在地 志布志町帖字南坂之上6790番8(旧天神派出所)
土地明細 地目:宅地

地積:245.29㎡

母屋

木造セメント瓦葺平屋建

床面積:59.95㎡

付属屋

コンクリート造平屋建

床面積:4.29㎡



■入札参加の申し込み方法

- ①個人の場合 一般競争入札参加申込書、納税証明書(市町村税)及び身分証明書
- ②法人の場合 一般競争入札参加申込書及び納税証明書(市町村税)及び登記簿謄本
- ③提出期限 2月23日(金)午後5時まで
- ④提出先 志布志市役所財務課及び志布志支所地域振興課

■入札・開札の日時及び場所

- ①入札 2月28日(水)午前9時
 - ②開札 入札締切り後直ちに開札
 - ③場所 志布志市役所別館2階会議室C
- ※その他詳細につきましては問い合わせください。

■問い合わせ先

志布志支所地域振興課財務係 Tel.472-1111(内線337)

第2回目!
2007年3/25(日) フリマ&アートスクエア♪
しぶし〇〇マーケットに
参加しませんか?

一般の皆さんいらっしゃい!

あなたのご家庭で不要になった洋服、古本、家具や電気製品を出品しませんか?

プロのお店を運営されている方 いらっしゃい!

しぶし〇〇マーケットにあなたのお店を出店させて、お店のコマーシャル、販売促進または地域の交流に役立てませんか?

出店に関して&出店料:

- ☆テントやシート、その他出店に必要な設備は全て自己管理です。
- ☆出店料(販売行為をする方のみ)
1区画(駐車一台の半分のスペース(2.25mx2.5m)) 500円
2区画(駐車一台分)800円、3区画1200円
※展示その他の社会・芸術活動等、販売行為のない出店は無料です。

出店のお申し込みに関するお問い合わせ:

☎ 099-472-3746
スーパーマーケットまで



おぐやみ
「真福をお祈りします」

このコーナーについてはインターネット版ではご覧になれません。ご了承ください。

うぶごえ
おぐやみからのお知らせ

年金情報

市役所	474-1111(内116)
志布志支所	472-1111(内243)
松山支所	487-2111(内224)

■ Pension information

国民年金は前納がお得です

国民年金は、保険料1年分のお支払い方法によって、おトクな割引料金が設定されています。

平成19年4月からの国民年金保険料は、年間16万9200円(月額1万4100円)になりますが、保険料1年分を前納すると、最大3550円が割引になります。

■当月払いによる口座振替(早割):年間割引額600円(口座振替で保険料当月払い(早割制度)を利用すると、毎月50円のお得になります。)

■現金払いによる1年前納・・・年間割引額3000円(1年分を納付書により銀行・郵便局にて現金で前納すると3000円のお得となります。)

■口座振替による1年前納・・・年間割引額3550円(1年分を口座振替で前納すると3550円のお得になります。)

平成19年度保険料口座振替前納のお申し込みは、2月28日(水)までです。志布志市役所の本庁・支所の年金係に、お早めにお申し込みください。

※口座振替のお申し込み手続きには、預(貯)金通帳、預(貯)金通帳届出印を持参してください。

■お問い合わせ先 志布志市役所年金係
Tel.474-1111(内216)

鳥インフルエンザの侵入を防止しましょう！

報道等で承知のとおり、宮崎県や岡山県で鳥インフルエンザが発生しました。市内への鳥インフルエンザの侵入を防止するために市民の皆様のご協力をお願いいたします。

- 防疫の強化を図るために、次の点に留意してください。
 - ・皆さんの飼育する鶏等の健康観察を確実に行ってください。
 - ・野鳥等との接触を防ぐため、野鳥侵入防止対策（防鳥ネット等）や放し飼防止に努めてください。
 - ・鶏等に与える飲水は水道水を使用するか、それ以外の水を与えるときは塩素で消毒し、野鳥のふん等が混入しないようにしてください。
 - ・農場等への訪問はなるべく控えるようにしてください。
 - ・志布志市では鶏等の少数飼養者の方々へ消毒液の無料配布を行っていますので、本庁もしくは各支所でお受け取りください。

・近所で野鳥が大量に死んだり、皆さんの飼養する鶏等が連続して死ぬなどの異常を発見した場合直ちに家畜保健衛生所または市役所に連絡してください。

※鶏卵、鶏肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的にも報告されていません。

■ 連絡・問い合わせ先

- ・志布志市役所畜産課 Tel 474-1111 (内線 432)
- ・松山支所 産業振興課 Tel 487-2111 (内線 233)
- ・志布志支所産業振興課 Tel 472-1111 (内線 450)
- ・曾於家畜保健衛生所 Tel 487-2351

■ 鳥インフルエンザの臨床症状 (例)



肉冠の出血・壊死

顔面の浮腫

脚部の皮下出血

平成 18 年度 自主文化事業

市民劇団 まつやま kid's 公演

■ 題名 「ぼくたちの夏」

■ 期日 2月17日(土) 開場 午後6時30分 開演 午後7時

■ 場所 やっちくふれあいセンター 入場料無料(全席自由席)

■ 問い合わせ先

志布志市教育委員会
松山教育支所 教育課
Tel 487-2111 (内線 262)
主催 志布志市教育委員会



市の人口 12月31日現在

人口	35,458人	(△6)
男	16,743人	(8)
女	18,715人	(△14)
転入	67人	転出 61人
出生	23人	死亡 35人
世帯数	15,598戸	(5)



第1回志布志市障害者スポーツ・レクリエーション大会

フライングディスクとは、プラスチック製の円盤のことです。そのフライングディスクを使ったスポーツを、あなたは知っていますか？ 競技として世界フライングディスク連盟(WFDF)公認の10種目があります。志布志市初の開催です。皆様の参加をお待ちしています。

■ 期日 平成19年3月4日(日) 開会 午前10時
■ 会場 有明町陸上競技場 ■ 競技種目 フライングディスク

■ 問い合わせ・参加申し込み先

有明本庁 障害福祉係 Tel 474-2281 (内線 174)
志布志支所 障害福祉係 Tel 472-1111 (内線 240)
松山支所 福祉係 Tel 487-2111 (内線 272)



大人のための餅つき伝習講座と体験

子ども達の餅つき体験は頻繁に行われていますが、大人の方を対象にした講座はありませんでした。そこで、下記のとおり大人のための餅つき伝習講座を行います。

- 日時 平成19年3月11日(日) 9時~14時
- 場所 農業歴史資料館・体験館(市役所近く)
- 参加費 1,000円(材料代) ■ 募集人数 20人(先着順)
- 参加申し込み 3月6日(火)まで
- 内容 白もち、草もち、からいも餅等の作り方(蒸しかたから、もみかたまで一貫して体験します)

- その他 かつぼう着、タオル等をご持参ください。
- 問い合わせ・申し込み先 志布志市開田の村管理組合
Tel 471-4343 Fax 471-4344



※開田の村管理組合では、写真のような石うすを探しています。使わなくなった等、不要なものがありましたらご連絡をお願いします。体験館に保管し、多くの方に利用していただきたいと思ひます。

『税金は一人ひとりの大きな心つまってる』田之浦中学校3年 橋口梨奈(税を考える週間大隅税務署長賞)

今月の納税

納付期限 2月28日 口座振替日 2月26日
口座振替をされる方は、口座振替日の前日までに残高確認をお願いします。

国民健康保険税(10期) 介護保険料(10期)

平成19年度市県民税(国民健康保険税・介護保険料)の申告について

- ・申告書が届かなくても、申告しなければならない場合があります。
- ・農業所得の申告は、必ずご自分で経費振分を行い、スムーズな申告に努めましょう。
- ・申告期間は2月13日(火)~3月9日(金)までです。

■ 申告書が届いたら

申告書や同封の関係書類を必ずお読みください。出張受付を行いますので、申告会場・受付時間を確認し、申告書に必要事項をご記入のうえ、その他の必要書類や印鑑などを持参して申告してください。

特に農業(自家消費米を含む)の収入がある方は、経費振分を必ず自分で項目ごとの合計金額を記入して申告してください。

ただし、以下の方は申告する必要はありません。

- ・税務署へ確定申告をされる方
- ・給与所得のみで年末調整が済んでおり、勤務先から給与支払報告書が市役所へ提出されている方
- ・確定申告をされる方や給与所得だけで年末調整の済んでいる方(市内在住の方に限ります)に扶養されており、全く収入のない方

■ 申告書が届かずハガキが届いたら

昨年青色申告をされた方、一定金額以下の年金所得のみで農地を所有されていない方、昨年住民税を給与所得で差し引かれており、給与所得以外に所得がなく農地を所有されていない方には、申告の必要がないためハガキで御案内しています。

しかし、青色申告から住民税申告に切り替えられる方や昨年住民税特別徴収者であっても退職された方、2か所以上から給与を貰われている方、給与以外に所得がある方、年金所得者であっても所得税の源泉徴収をされている方や

控除内容の記載を希望される方、年金以外に所得のある方は申告が必要となります。

また、土地を売却された方や土地を貸して収入があった場合は、少額でも申告が必要となります。申告書は各申告会場に準備してあります。

■ 申告は出張受付申告会場で

申告期間中は、申告を受ける職員のほとんどが各出張受付申告会場に対応するため、本庁・各支所の税務担当課窓口では対応に時間がかかることがあります。申告はなるべく出張受付申告会場でのお願いいたします。

■ 農業所得の申告の方は次の関係書類を準備し、申告会場へご持参ください。

平成18年中(1月~12月)に農業(自家消費米含む)収入のある方は、次の書類等を市・県民税の申告時に提出しなければなりません。

① 収入に関する書類

市場や会社などの出荷証明書等になりますが、特に牛を出荷した場合、売却証明書(印の記載のあるもの)がないと免税になりませんのでご注意ください。

② 経費に関する書類

必要経費の領収書等です。領収書がもらえなかった場合は、帳面等にご自分で記入(支払日・支払先・金額等)したもので結構です。支払いの確認できる書面等をご持参ください。

支払った証明が全く残っていない場合は経費として計上できません。

■ 収支の計算はご自分で

市では、自書申告を推進しています。必ず経費計算をしてから申告してください。場合によっては、申告を受け付けられず、後日あらためて市役所で申告していただくことにもなりかねませんので、十分ご注意ください。

平成19年度 志布志市奨学生の募集について

市教育委員会では平成19年度の高等学校・専門学校・短期大学・大学・海外留学生を対象に、次のとおり奨学生を募集します。

- 対象者 高校生・大学生・短期大学生及び高等専門学校生・留学生(大学生・短期大学生及び高等専門学校生・専門学校生)
- 必要書類 (新規) 願書、所得証明書(世帯全員のもの/所得制限500万円以下)、納税証明書(世帯全員のもの)、住民票(親権者)、在学証明書、推薦書等 (継続) 所得証明書(世帯全員のもの/所得制限500万円以下)、納税証明書(世帯全員のもの)、在学証明書 ※高校から大学に進学する等は新規扱い

■ 募集期間	4月2日(月)から4月27日(金)
■ 貸与金額(年額)	
高校生	180,000円
大学・短大・専門学校生	360,000円
留学生	600,000円

- 募集要件 本市に4月1日現在で3か月以上在住する方の子ども、所得が500万円以下の世帯(申請者が2人以上の場合はこの限りではない)とし、選考委員会で審査のうえ決定します。
- 返還方法 卒業後、1年据え置いて翌年から5年~10年間で返還していただきます。

- 問い合わせ先 教育委員会教育総務課 Tel 472-1111 (内線 233)
松山教育支所教育課 Tel 487-2111 (内線 261)
有明教育支所教育課 Tel 474-1111 (内線 282)



普通財産(土地・建物・工作物)の売払予定のお知らせ

下記の国有財産を一般競争入札により売り払う予定です。購入を希望される方は、下記購入希望申込先までご連絡ください。

■ 売払予定物件

- ① 土地 所在地：志布志市志布志町安楽字水溜 190 番 79 地目：宅地 数量 334.88 m²
- ② 建物 所在地：志布志市志布志町安楽字水溜 190 番 79 地目：住宅建 数量 64.80 m²
- ③ 建物 所在地：志布志市志布志町安楽字水溜 190 番 79 地目：雑屋建 数量 3.31 m²
- ④ 工作物 数量 1 式

■ 入札(売払) 予定時期

購入希望がある場合、平成 19 年 3 月頃

■ 入札(売払) 予定場所 物件所在地の管轄事務所

■ 入札参加条件

- ① 予算決算及び会計令第 70 条及び第 71 条に該当しない者であること。
- ② 国有財産に関する事務に従事する者にあつては、国有財産法第 16 条に該当しない者であること。

■ 入札の無効

競争に参加する資格のない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とします。

■ 入札保証金

- ① 入札される金額の 5% 以上の金額を、入札保証金として入札前に納付することが必要です。
- ② 入札保証金には利息は付しません。
- ③ 落札者が落札決定の日から当局が指定した日までに契約を締結しない場合、入札保証金は国庫に帰属します。

■ 契約保証金

落札者は売買代金の 10% 以上の金額を契約保証金として売買契約締結の日までに納付する必要があります。

購入希望申込・問い合わせ先

九州地方整備局志布志港湾事務所総務課経理係
Tel 472-3831

水道修繕当番店

松山地区

- 2 月 佐藤建設 Tel 487-2049
- 3 月 濱田建設 Tel 487-2288

志布志地区

- 2 月 6 日～2 月 12 日 九電工 Tel 472-0112
- 2 月 13 日～2 月 19 日 山本組 Tel 472-1101
- 2 月 20 日～2 月 26 日 宮崎水道 Tel 472-1081
- 2 月 27 日～3 月 5 日 高吉組 Tel 472-0721
- 3 月 6 日～3 月 12 日 崎田建設 Tel 473-0050
- 3 月 13 日～3 月 19 日 志布志水道 Tel 472-3540

有明地区

- 2 月 西江建設 Tel 474-2113 有線 5703
- 3 月 山中水道建設 Tel 474-1440 有線 6930

【お詫び】1 月号の水道修繕当番店で、志布志地区の「2 月 6 日～2 月 12 日 九電工」を「1 月 6 日～2 月 12 日」と表記していました。市民の皆様、関係者に大変ご迷惑をおかけしました。お詫びのうえ訂正いたします。

鹿児島県議会議員の選挙区について

平成 18 年 3 月の「鹿児島県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」の一部改正に伴い、4 月 8 日執行の鹿児島県議会議員選挙は、次のとおり、改正後の新たな選挙区及び選挙区ごとの定数により執行されることとなります。

選挙区名称	区域	議員定数
鹿児島市・鹿児島郡区	鹿児島市及び鹿児島郡	19
鹿屋市区	鹿屋市	3
枕崎市区	枕崎市	1
阿久根市・出水郡区	阿久根市及び出水郡	1
出水市区	出水市	2
大口市・伊佐郡区	大口市及び伊佐郡	1
指宿市・指宿郡区	指宿市及び指宿郡区	2
西之表市区	西之表市	1
垂水市区	垂水市	1
薩摩川内市区	薩摩川内市	3
日置市区	日置市	2
曾於市区	曾於市	1
霧島市区	霧島市及び湧水町	4
いちき串木野市区	いちき串木野市	1
南さつま市区	南さつま市	1
志布志市・曾於郡区	志布志市及び曾於郡(大崎町)	1
奄美市区	奄美市及び大島郡龍郷町	2
川辺郡区	川辺郡	1
薩摩郡区	薩摩郡	1
始良郡区	始良郡(湧水町を除く)	2
肝属郡区	肝属郡	1
熊毛郡区	熊毛郡	1
大島郡区	大島郡(龍郷町を除く)	2
全選挙区		54

問い合わせ先 志布志市選挙管理委員会
Tel 474-1111 (内線 291)

+ 2月・3月 休日在宅医診療 +

11日	はまさき耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉科) Tel473-3387	
	藤後クリニック(内科) Tel472-1237	
12日	山口内科(内科) Tel473-1188	
	ひろた小児科(小児科) Tel471-6111	
18日	東郷クリニック(産婦人科) Tel473-1035	
	石神診療所(内科、皮膚科) Tel474-0107	
25日	山下クリニック(内・外科、整、脳) Tel487-9001	
	ひろの樹整形外科(整形・内科) Tel471-6611	
4日	井手小児科(小児科) Tel473-3211	
	みやじクリニック(内科、放、呼、胃) Tel471-5000	
11日	山口内科(内科) Tel473-1188	
	ひろた小児科(小児科) Tel471-6111	

※ 都城市・北諸県郡管内の休日の救急診療機関は、電話でのテープ案内(Tel0986-23-5555)を行っていますのでご活用ください。

「消さないで あなたの心の注意の日」(3月1日～7日は春季全国火災予防週間です。)

「注射針」や「残ってしまった薬」の回収について

一般家庭から排出される使用済み注射針、飲み残しの薬の廃棄に困っている方はいませんか。

鹿児島県薬剤師会では、2月1日から、これらの物を回収する事業を始めました。写真にあるステッカーの貼ってある薬局で、専用容器をもらって、下記の回収対象物を入れて持っていけば無料で処理できます。

■ 回収対象物

- ・注射等で使用した針・シリンジまたは付随する器具類
- ・医療行為で発生した器具及び材料(厚さ 6mm 以下)
- ・残ってしまった医薬品(飲み残しの風邪薬・使い残しの軟膏など)

■ 回収できないもの

- ・スプレー缶 ・試薬類(塩酸・硫酸・ホルマリン等)
- ・水銀等の重金属類(シアン・クロムほか水銀入り血圧計・体温計ほか)
- ・揮発性がある廃油(シンナー・ガソリン・アルコール・エタノール等)

■ 回収薬局について

普段のかかりつけ薬局での回収はもちろん行いますが、写真のステッカーの貼ってある薬局ならどこでも回収します。

お問い合わせは、お近くの回収薬局または、市役所環境政策課までご相談ください。



■ 平成 19 年度しゃんしゃん馬・花嫁カップル募集!

志布志市お釈迦祭り実行委員会では、4月29日(昭和の日)に開催される「しぶし・お釈迦祭り」の「しゃんしゃん馬・花嫁カップル」5組を募集しています。



「しぶし・お釈迦祭り」で、花婿が馬に乗せた花嫁を引いてパレードする「しゃんしゃん馬・花嫁カップル」に参加して一生に一度の思い出作りをしてみませんか。

■ 募集要項

- ① 募集対象：平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日までに結婚したカップルもしくは結婚予定のカップル。
- ② 募集組数 5 組(市内 4 組、市外 1 組)
- ※ 市内組とは、現住所が旧志布志町、旧有明町、旧松山町。しかし市外在住であっても旧志布志町、旧有明町、旧松山町出身の場合は、市内組の扱いとします。
- ③ 募集締切 3 月 16 日(金) 当日消印有効
- ④ 決定方法：申込みが 5 組以上の場合は、申込み者本人達の(両名)出席による「選考会(抽選会)」を開催し、決定します。
- ⑤ 参加費用 1 組 30,000 円



『木造ザビエル旧聖堂の再生』の講演会

ザビエル渡来 400 年を記念して 1949 年に建設された鹿児島カトリックザビエル記念旧聖堂を 1997 年に解体し、2010 年に再生させる計画です。

なぜ保存するのか。どのようにして再生させるのか。旧聖堂と歩む過去・現在・未来について講演します。

- 日時 2 月 16 日(金) 18:00～19:30
- 場所 志布志市文化会館 集会室 1・2
- 講師 土田充義氏(鹿児島大学名誉教授)
- 主催 (社) 曾於法人会 青年部会

問い合わせ先 (有) 結建築研究所 Tel 472-5418

演奏家を募集します!

東京や鹿児島市などで、楽団の指揮者やバンドの指導者として活躍した志布志町夏井出身の谷村正広さんが、ふるさとでバンドを結成し、楽器の指導を行います。興味のある方はご連絡ください。

問い合わせ先 谷村 正広 Tel 472-2295

- ⑥ 選考会及び決定者発表 4 月 8 日(日)
- ⑦ リハーサル 4 月 28 日(土)
- ⑧ その他
 - ・参加が決定したカップルについては、4 月 8 日(日)に担当美容室と「花嫁のかつら合せ」を行います。
 - ・希望により、1 組のみ仏前結婚式が挙げられます。

■ 平成 19 年度お釈迦祭り・新生児灌仏会(かんぶつえ) 参加者募集

このイベントは、お釈迦様の誕生を祝うと共に生まれて一年未満の新生児の健やかな成長を祈念し、合同で灌仏会を行い、後日、子どもの名前が刻まれた記念碑を制作致するものです。

※ 灌仏会とは、釈迦如来像に甘茶をかけ、一年の無病息災を祈念する行事です。

- ① 募集対象 平成 18 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日までに、生まれた市内在住の新生児。
- ② 募集締切 4 月 20 日(金)
- ③ 参加費 1,000 円
- ④ 開催日時 4 月 29 日(日) 10:00～
- ⑤ 開催場所 志布志市・宝満寺公園

■ 申し込み・問い合わせ先

しぶし・お釈迦祭り実行委員会事務局
市役所港湾商工課内 Tel 474-1111 (内線 264)

志布志市くらしのカレンダー

日曜当番医は35ページに掲載しています

ニュース・ご意見などありましたら E-mail info@city.shibushi.lg.jp までご一報ください

2/10 (土)	安楽山宮神社春祭り(安楽山宮神社)	25 (日)	生涯学習フェスティバルグランドフィナーレ(24頁参照)
11 (日)	建国記念の日 安楽(やすら)神社春祭り(志布志安楽神社) 介護予防講演会(10:30~12:00 アピア2階ホール)	26 (月)	
12 (月)	振替休日	27 (火)	農業委員と認定農業者と語る会(13:30~ 市老人福祉センター)
13 (火)		28 (水)	心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(9:00~12:00 松山支所福祉課) 乳児健診/BCG予防接種(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)
14 (水)	心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(9:00~12:00 松山支所福祉課) 両親学級(9:30~9:40受付 健康ふれあいプラザ)	3/1 (木)	
15 (木)	行政相談(13:00~16:00 志布志支所1階会議室)	2 (金)	
16 (金)	乳児健診/BCG予防接種(13:00~13:30受付 農村研修センター)	3 (土)	
17 (土)	特設人権相談所開設(10:00~15:00 泰野地区公民館) 土田充義教授文化講演会(18:00~ 志布志市文化会館) 2歳・5歳児歯科検診(13:00~13:15受付 やつちくふれあいセンター)	4 (日)	早鈴神社・霧島神社(松山地区)のダゴ祭り 白鳥神社(有明地区)の神舞 両親学級(9:30~9:40受付 子育て支援センター)
18 (日)	第54回県下一周市郡対抗駅伝大会(~21日 県内一円) 女性支援推進事業みんなが主役の講演会(35頁参照)	5 (月)	心配ごと相談(10:00~15:00 市民センター)
19 (月)	南こうせつコンサート(18:00開演 志布志市文化会館)	6 (火)	心配ごと・行政相談(10:00~15:00 市老人福祉センター) 1歳児歯科相談/育児相談(13:30~15:00 やつちくふれあいセンター)
20 (火)	心配ごと相談(10:00~15:00 市老人福祉センター) 心配ごと相談(10:00~15:00 市民センター) 法律相談(13:00~15:00 志布志支所5F会議室) 育児学級(9:30~9:45受付 農村研修センター) 育児相談(10:30~12:00 農村研修センター) 2歳児歯科健診(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)	7 (水)	心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(13:30~16:00 本庁保健課窓口)
21 (水)	心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(13:30~16:00 本庁保健課窓口) 三種混合予防接種(13:30~14:00受付 アピア2階ホール)	8 (木)	1才6か月児・3歳児健診(13:00~13:15受付 やつちくふれあいセンター)
22 (木)	島田洋七講演会(19:00開演 志布志市文化会館) 移動年金相談(10:00~15:00 農村環境改善センター) 乳児健診・BCG予防接種(13:00~13:15受付 やつちくふれあいセンター) 三種混合予防接種(13:30~14:00受付 アピア2階ホール) 育児学級(13:00~13:15受付 やつちくふれあいセンター)	9 (金)	
23 (金)	育児学級(9:30~10:00受付 健康ふれあいプラザ) 育児相談(10:30~12:00 健康ふれあいプラザ) 三種混合予防接種(13:30~14:00受付 改善センター)	10 (土)	
24 (土)	生涯学習フェスティバル(~25日 志布志市文化会館)	11 (日)	
		12 (月)	
		13 (火)	市内各中学校卒業式 5歳児歯科検診(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)

※志布志支所の母子手帳交付は毎週月曜日の午前中です。

編集後記

▼最近、食育という言葉をよく耳にします。地産地消等、昔は聞かない言葉もすっかりおなじみになりました。▼1月22日、交流給食の取材に行きました。▼現在使用される食器は強化磁器など、子ども達の健康を考慮、内分泌かく乱物質等が溶け出さないものになっていくそうです。▼食事のあと、松山学校給食センター栄養士の山本愛さんが子ども達に「ご飯を食べる前に『いただきます』というのを命を頂きますと言っているんです」と説明をされました。▼お肉だけではなくご飯一粒等の全てが『命』でできていると考えると食べ物に感謝し、粗末にすることはできないと考えさせられました。▼食育は大変大切なことだと感じました。(ヤ)

2月・3月の行事予定
げんき市(昭和通付近)
毎週土・日曜日(9時~15時)
花野果市(田之浦ふるさと交流館)
2月25日(9時~12時)
やつちくふれあい市(道の駅松山)
2月25日、3月11日(10時~12時)
戌の市(宝満寺)
2月9日、21日、3月5日
駅通り会土曜朝市(アピア前駐車場)
毎月第1、第3土曜日(7時~11時)
そば処ちんたら庵(山重芝用)
毎週日曜日11時~14時
春季全国火災予防週間
3月1日(木)~7日(水)

©この広報紙は再生紙を使用しています。